

## 2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

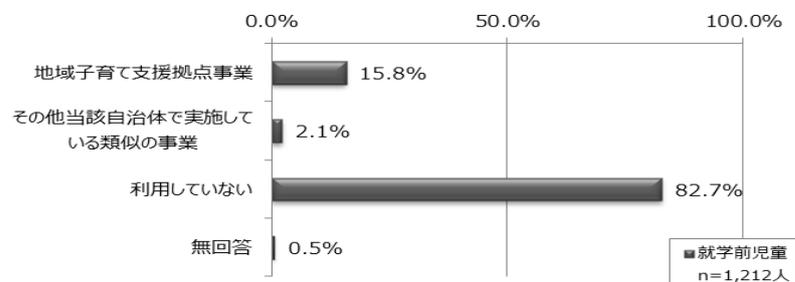
### (1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、利用者が 15.8%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用者が 2.1%となっています。

「地域子育て支援拠点事業」の（1週当たり）利用回数は、「1回」（8.9%）が最も多く、次いで「2回」・「5回」（各 3.1%）、（1ヶ月当たり）利用回数は、「1回」（47.6%）、「2回」（20.9%）の順となっています。

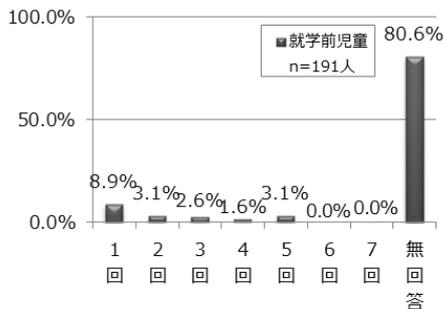
「その他当該自治体で実施している類似の事業」の（1週当たり）利用回数は、「1回」（38.5%）、（1ヶ月当たり）利用回数は、「1回」（42.3%）が最も多く、「無回答」を除いて、他の回答はごく少数となっています。

問 17.1 地域子育て支援拠点事業の利用状況

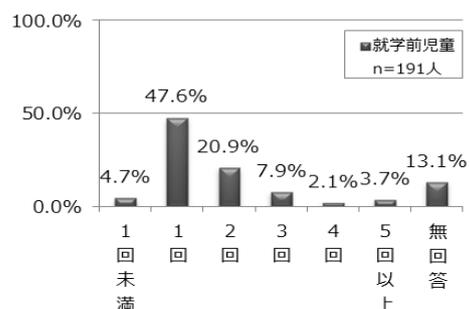


問 17.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数

【1週当たり】

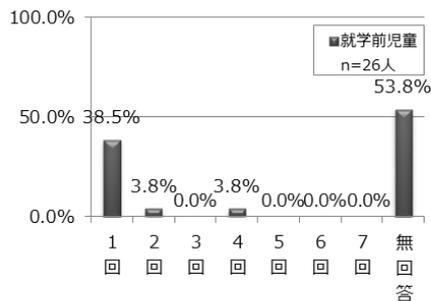


【1ヶ月当たり】

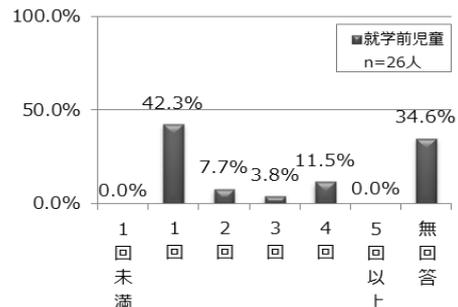


問 17.2 その他類似の事業の利用回数

【1週当たり】

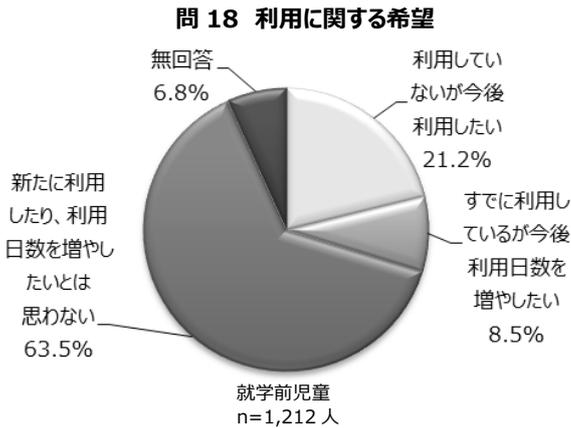


【1ヶ月当たり】

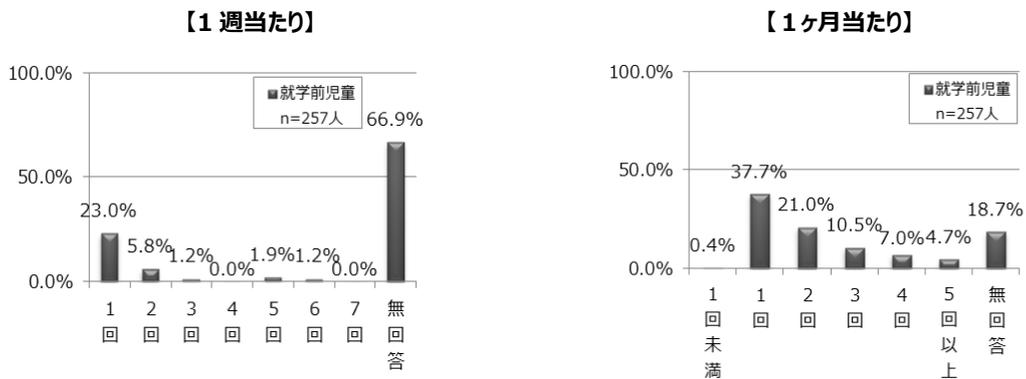


利用に関する希望をみると、「利用していないが今後利用したい」（21.2%）と「すでに利用しているが今後利用日数を増やしたい」（8.5%）を合わせて 29.7%となっており、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」（63.5%）を大幅に下回っています。

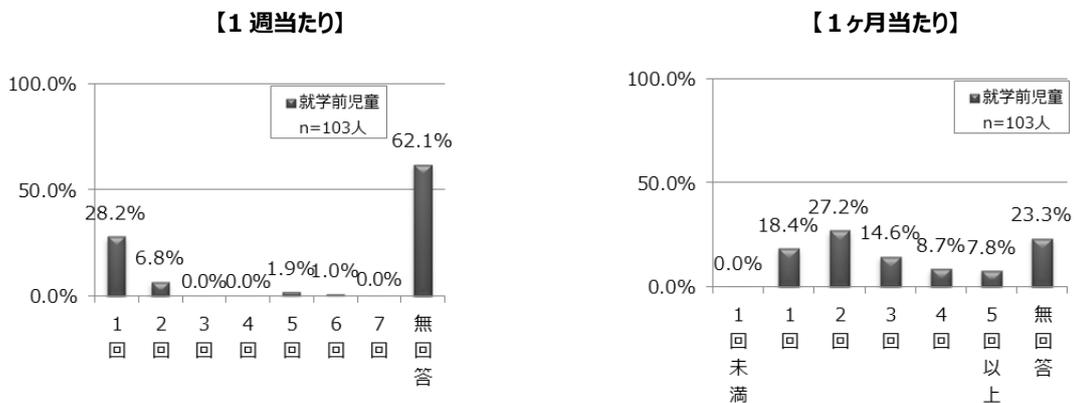
また、未利用者の（1週当たり）希望回数は、「1回」（23.0%）、（1ヶ月当たり）希望回数は、「1回」（37.7%）で、利用者の増やしたい（1週当たり）回数は、「1回」（28.2%）、（1ヶ月当たり）回数は、「2回」（27.2%）となっています。



**問 18.1 未利用者の希望回数**



**問 18.2 利用者の増やしたい回数**

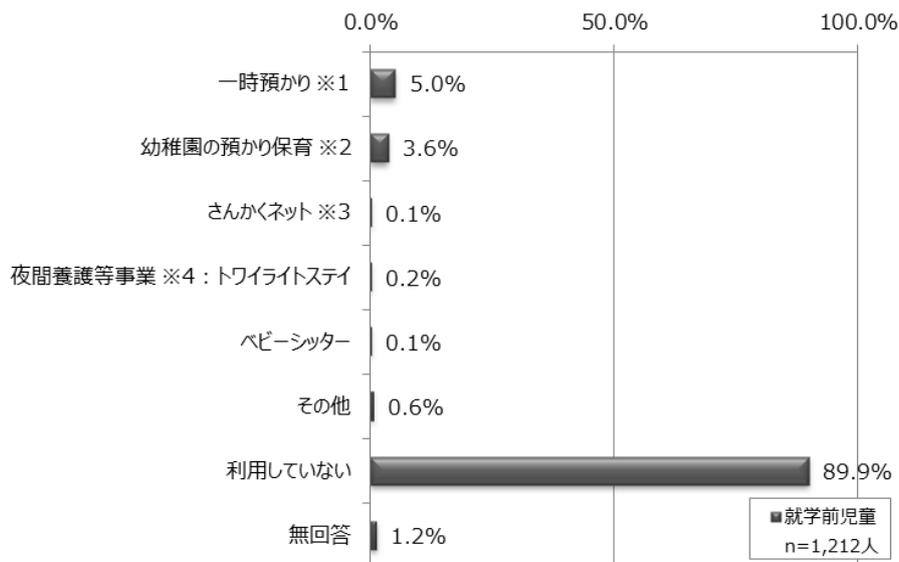


(2) 1. 就学前児童の不定期の一時保育の利用について

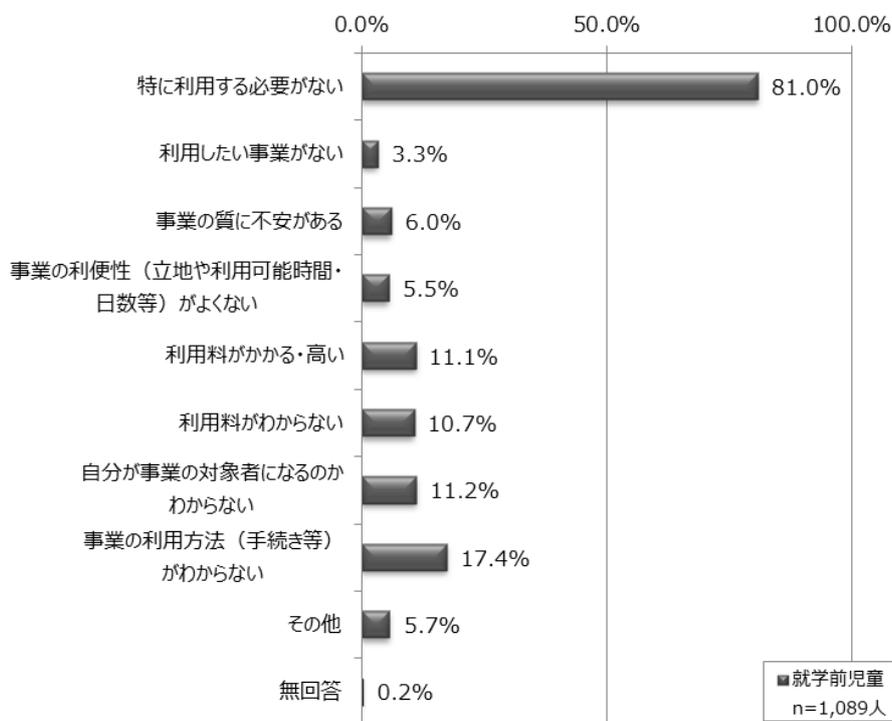
就学前児童の不定期の一時保育事業の利用状況をみると、「一時預かり」（5.0%）、「幼稚園の預かり保育」（3.6%）となり、ほとんど利用がない状況です。

一時保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」（81.0%）、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（17.4%）、「自分が事業の対象者になるのかわからない」（11.2%）、「利用料がかかる・高い」（11.1%）の順になっています。

問 23 地域子育て支援拠点事業の利用状況



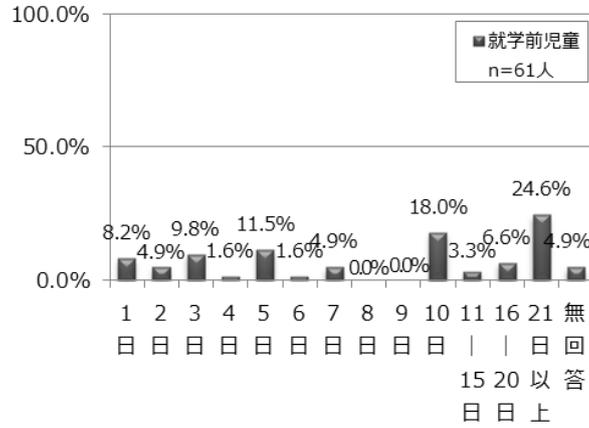
問 23-1 一時保育事業を利用していない理由



※ 1 一時預かり：私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業  
 ※ 2 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ  
 ※ 3 さんかくネット：地域住民（子育てサポーター）が子どもを預かる事業  
 ※ 4 夜間養護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

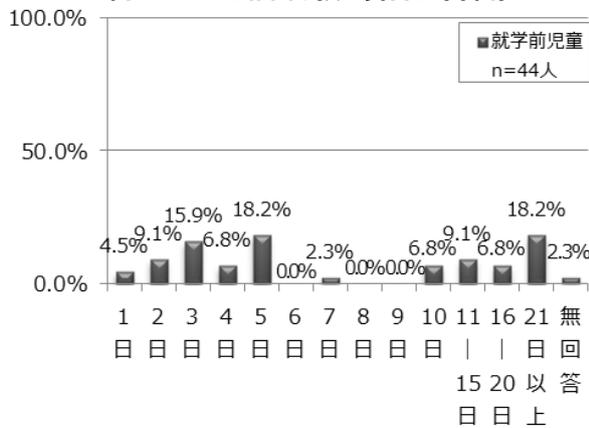
就学前児童の一時的に預けた日数をみると、年間「21日以上」（24.6%）、「10日」（18.0%）、「5日」（11.5%）、「3日」（9.8%）、「1日」（8.2%）の順となっています。

問 23.1 一時的に預けた日数（年間）

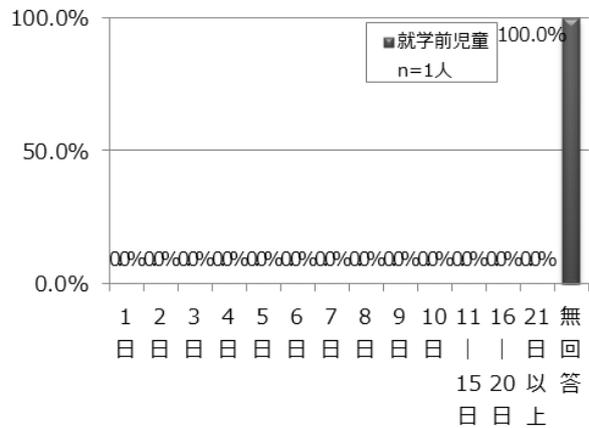


就学前児童の幼稚園の預かり保育をみると、年間「21日以上」・「5日」（各 18.2%）、「3日」（15.9%）、「2日」・「11-15日」（各 9.1%）の順となっています。

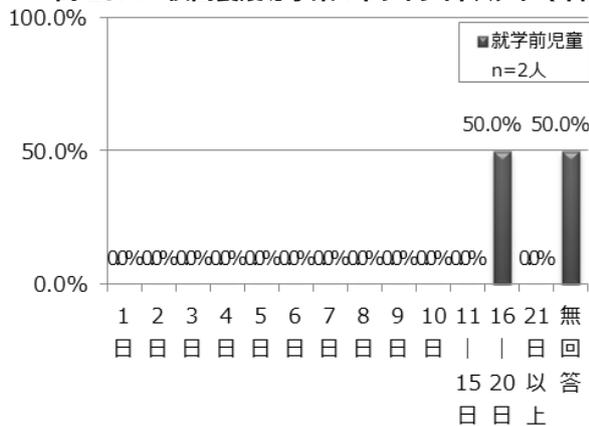
問 23.2 幼稚園の預かり保育（年間）



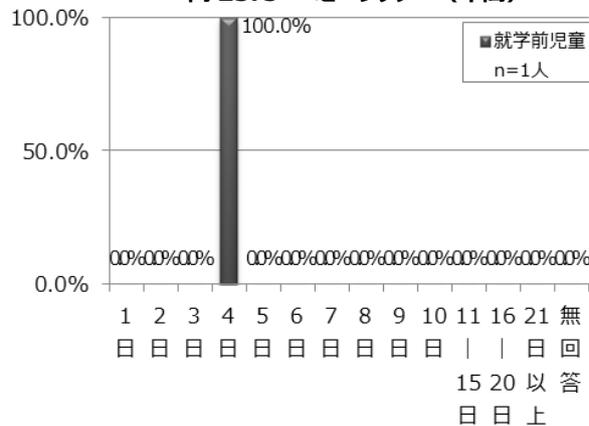
問 23.3 さんかくネット（年間）



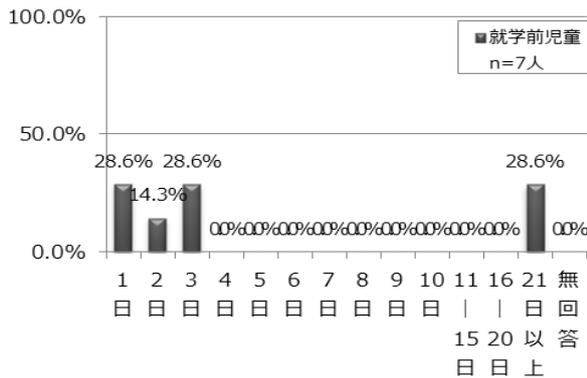
問 23.4 夜間養護等事業：トワイライトステイ（年間）



問 23.5 ベビーシッター（年間）



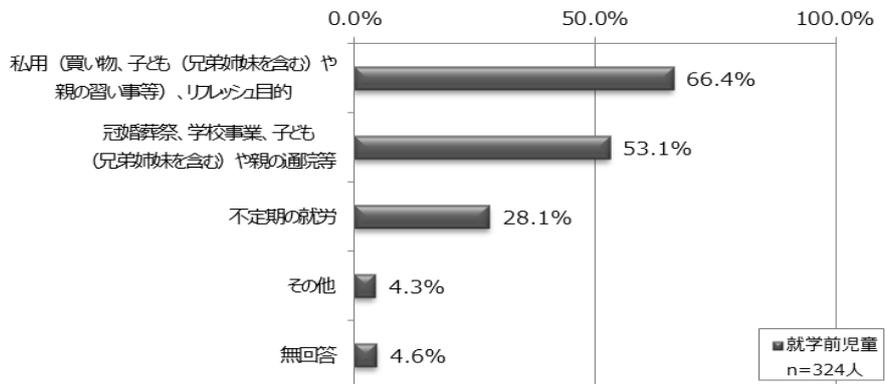
問 23.4 その他（年間）



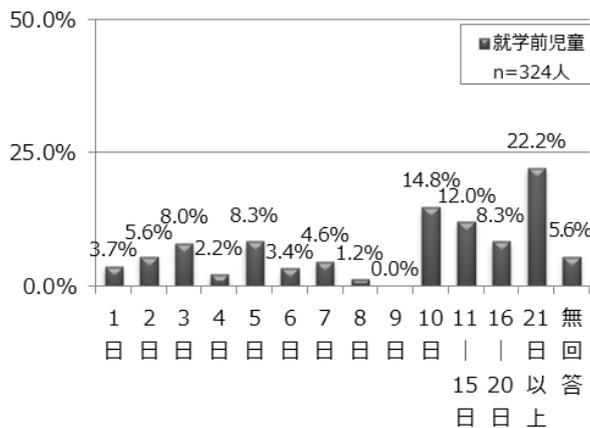
就学前児童の一時保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」（65.7%）、「利用したい」（26.7%）となっています。その利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」（66.4%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（53.1%）、「不規則の就労」（28.1%）の順に高い割合となっています。

また、年間の利用希望日数は「21 日以上」（22.2%）、「10 日」（14.8%）、「11－15 日」（12.0%）です。

問 24 一時保育事業の利用希望とその目的

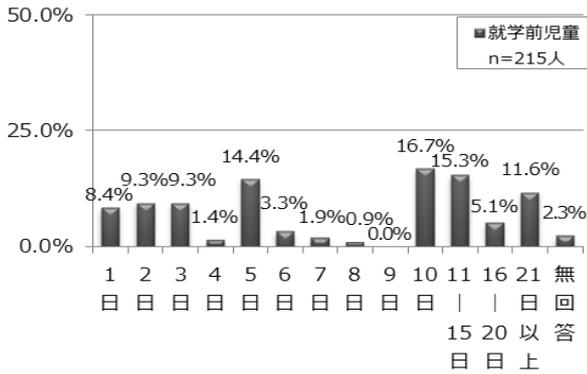


問 24.1 利用希望年間合計日数

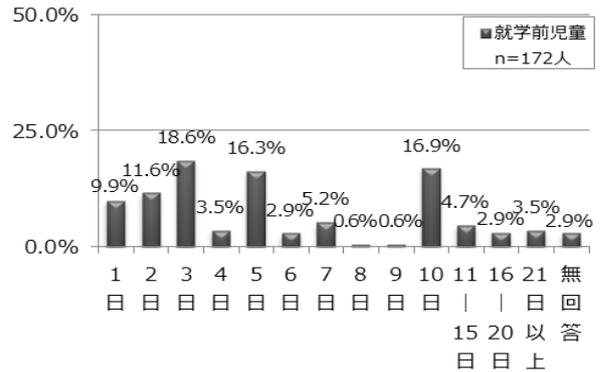


就学前児童の利用目的別の希望日数をみると、「私用、リフレッシュ目的」は「10日」(16.7%)、「11-15日」(15.3%)、「5日」(14.4%)、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院目的」は「3日」(18.6%)、「10日」(16.9%)、「5日」(16.3%)、「不特定の就労目的」は「10日」(23.1%)、「21日以上」(15.4%)、「5日」・「11-15日」(各11.0%)の順にそれぞれなっています。  
また、「その他の目的」は、「21日以上」(21.4%)が最も多くなっています。

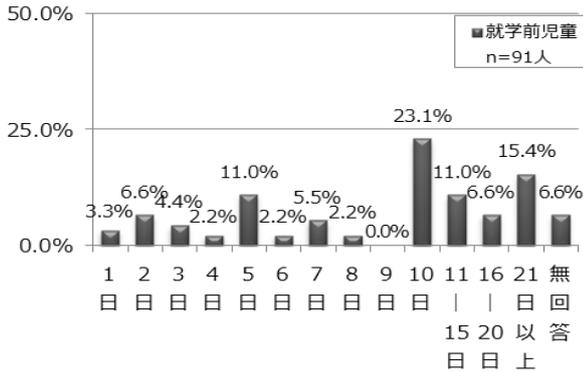
問 24.1.① 私用、リフレッシュ目的



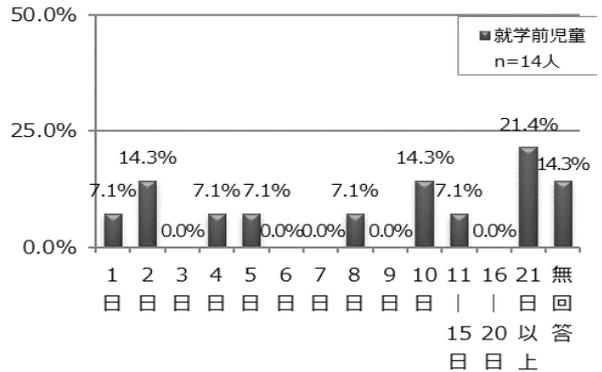
問 24.1.② 冠婚葬祭、学校事業、子どもや親の通院



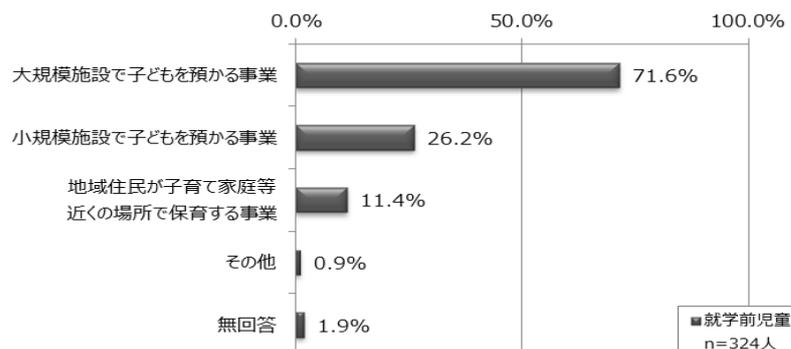
問 24.1.③ 不特定の就労目的



問 24.1.④ その他の目的



就学前児童の子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると「大規模施設で子どもを預かる事業」(71.6%)、「小規模施設で子どもを預かる事業」(26.2%)、「地域住民が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」(11.4%)の順となっています。

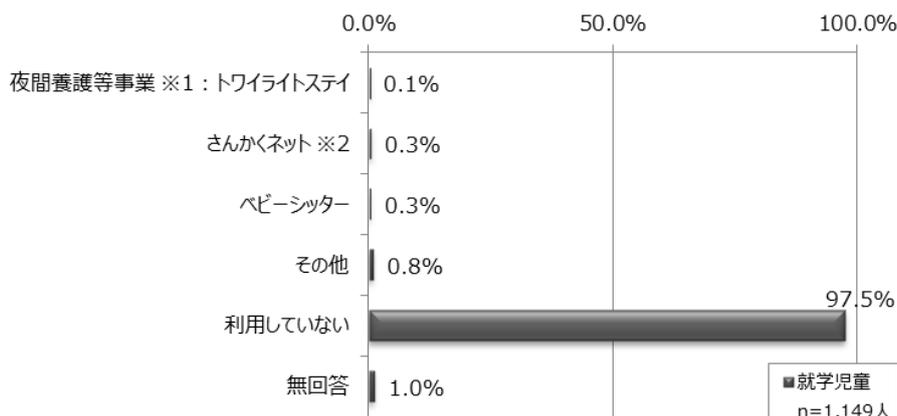


## 2. 就学児童の不定期の一時保育事業の利用について

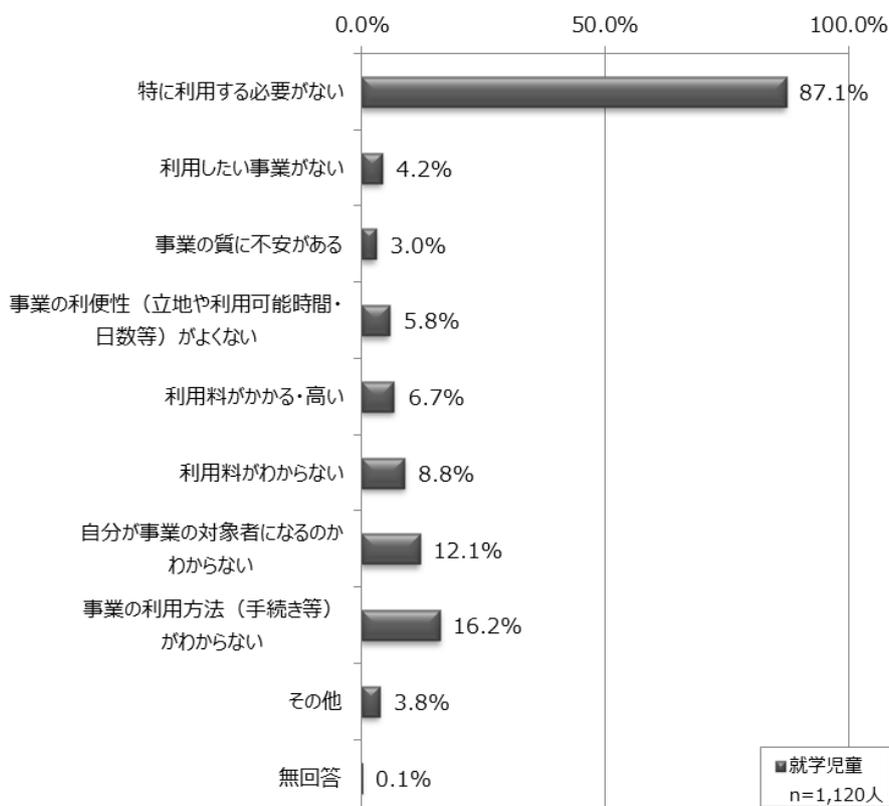
就学児童の不定期の一時保育事業の利用状況をみると、「さんかくネット」(0.3%)、「ベビーシッター」(0.3%)となり、ほとんど利用がない状況です。

一時保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(87.1%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(16.2%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(12.1%)、「利用料がわからない」(8.8%)の順になっています。

問 14 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問 14-1 一時保育事業を利用していない理由

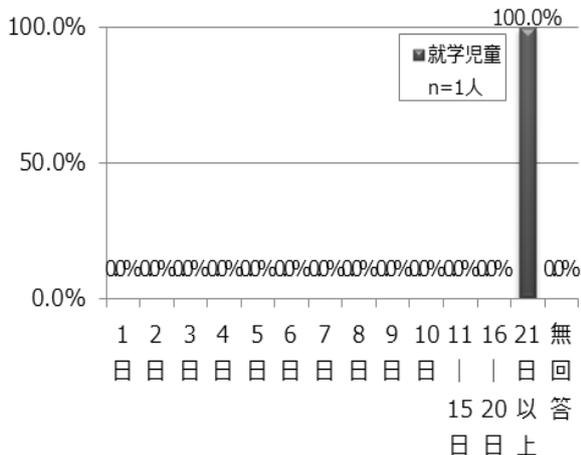


※ 1 夜間養護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

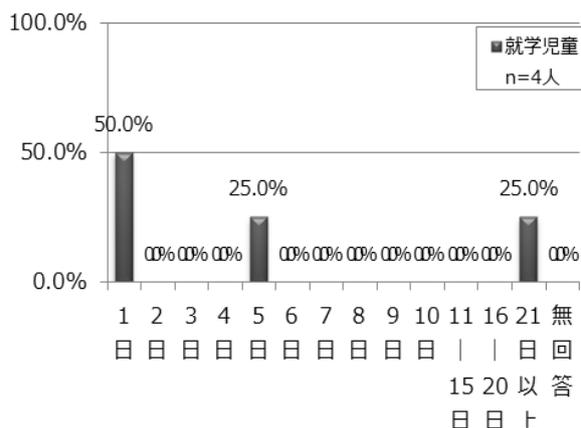
※ 2 さんかくネット：地域住民(子育てサポーター)が子どもを預かる事業

就学児童の不定期に利用している一時保育事業はいずれも少数で、夜間養護等事業の利用は年間「21日以上」(100.0%)、さんかくネットの利用は「1日」(50.0%)、「5日」・「21日以上」(各25.0%)、ベビーシッターの利用は「4日」・「10日」・「21日以上」(各33.3%)となっています。

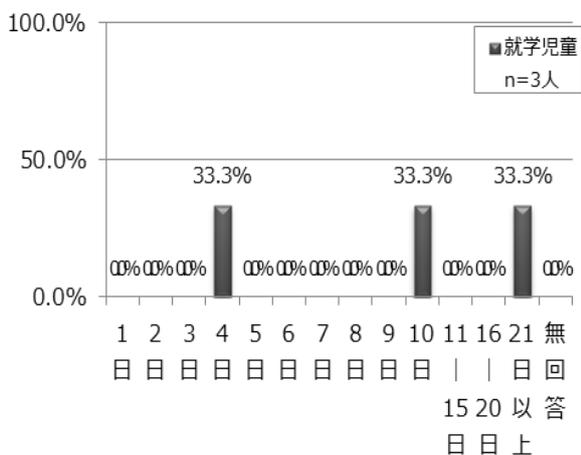
問 14.1 夜間養護等事業：トワイライトステイ（年間）



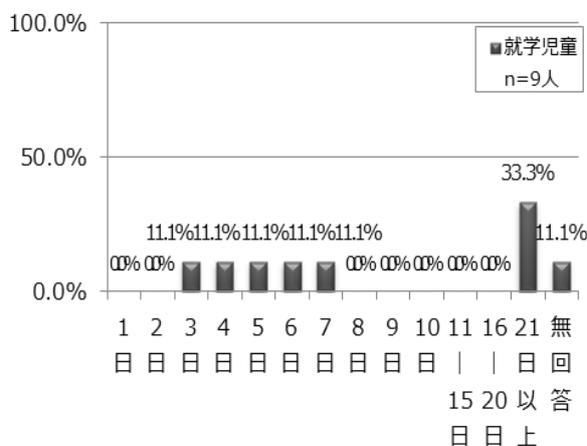
問 14.2 さんかくネット（年間）



問 14.3 ベビーシッター（年間）



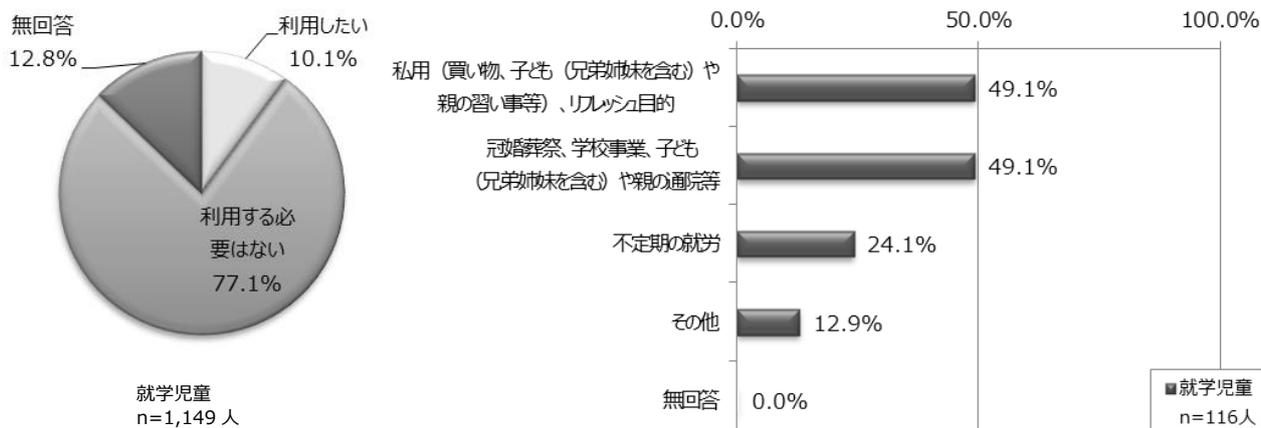
問 14.4 その他（年間）



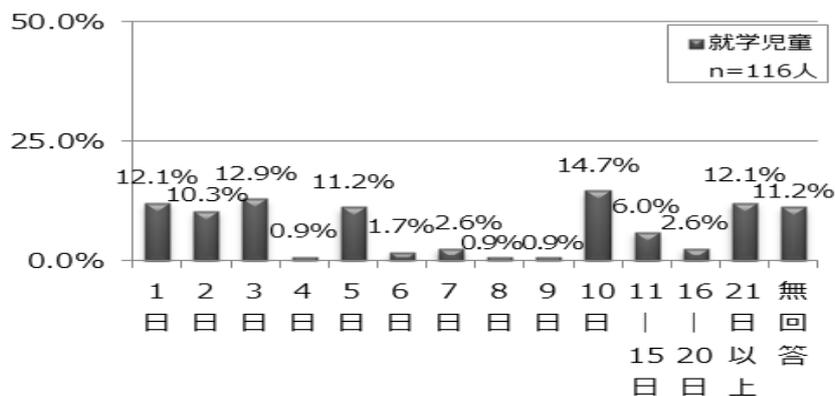
就学児童の一時保育事業の利用希望をみると、「利用する必要はない」（77.1%）、「利用したい」（10.1%）となっています。その利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」・「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（各 49.1%）、「不定期の就労」（24.1%）の順に高い割合となっています。

また、年間の利用希望日数は「10 日」（14.7%）、「3 日」（12.9%）、「1 日」・「21 日以上」（各 12.1%）の順となっています。

問 15 一時保育事業の利用希望とその目的



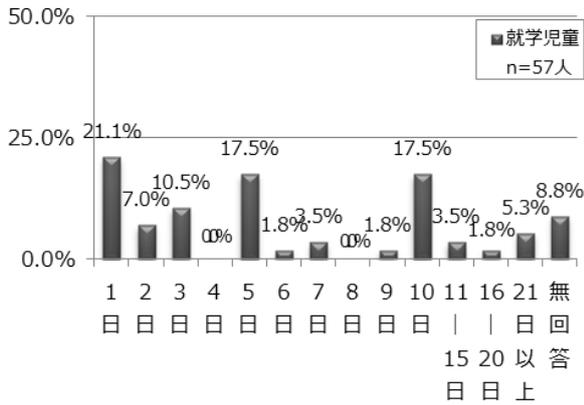
問 15.1 利用希望年間合計日数



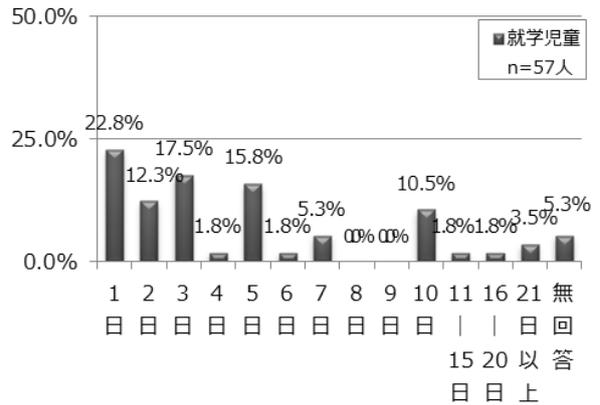
就学児童の利用目的別の希望日数をみると、「私用、リフレッシュ目的」は「1 日」（21.1%）、「5 日」・「10 日」（各 17.5%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院目的」は「1 日」（22.8%）、「3 日」（17.5%）、「5 日」（15.8%）、「不定期の就労目的」は「5 日」・「10 日」（各 17.9%）、「3 日」（14.3%）の順にそれぞれなっています。

また、「その他の目的」は、「2 日」・「21 日以上」（各 20.0%）が最も多くなっています。

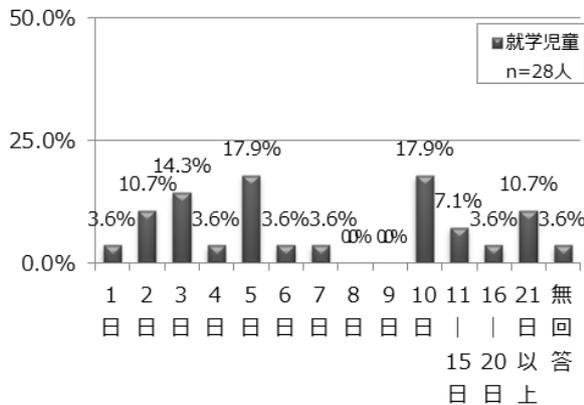
問 15.1.① 私用、リフレッシュ目的



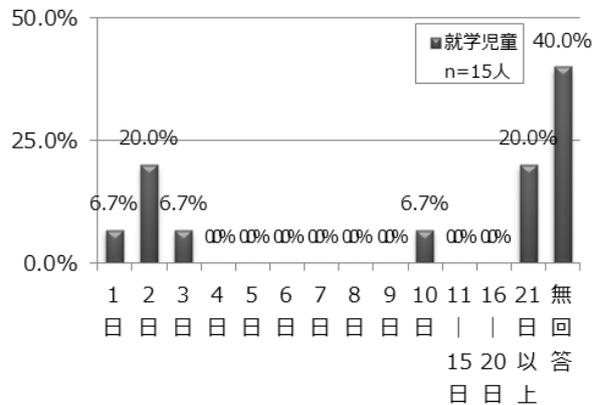
問 15.1.② 冠婚葬祭、学校事業、子どもや親の通院



問 15.1.③ 不特定の就労目的

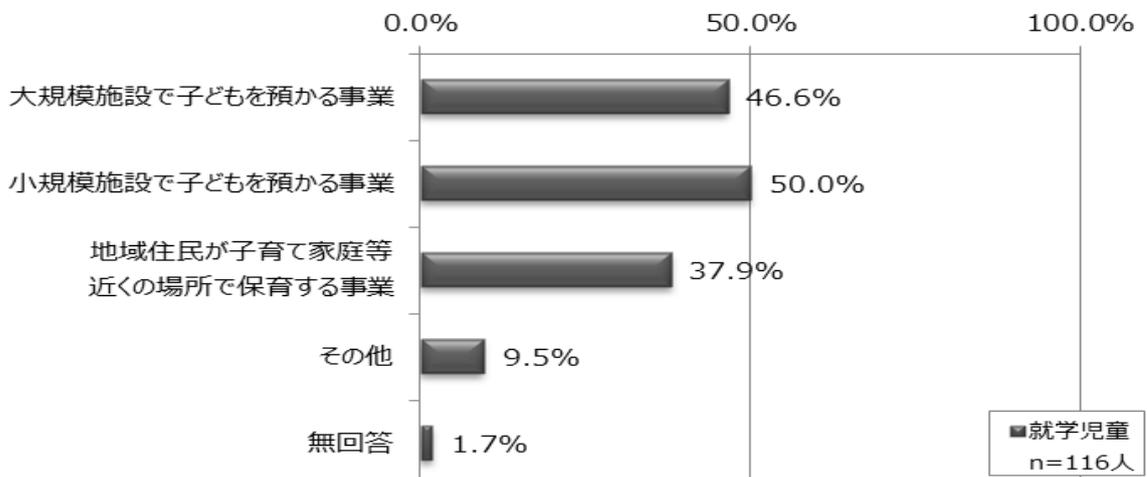


問 15.1.④ その他の目的



子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると「小規模施設で子どもを預かる事業」（50.0%）、「大規模施設で子どもを預かる事業」（46.6%）、「地域住民が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」（37.9%）の順となっています。

問 15-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

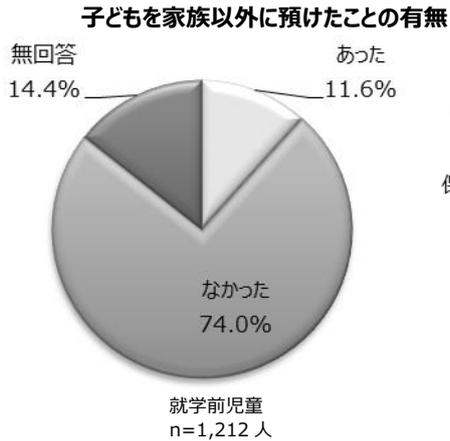


(3) 1. 就学前児童の宿泊を伴う一時保育の利用について

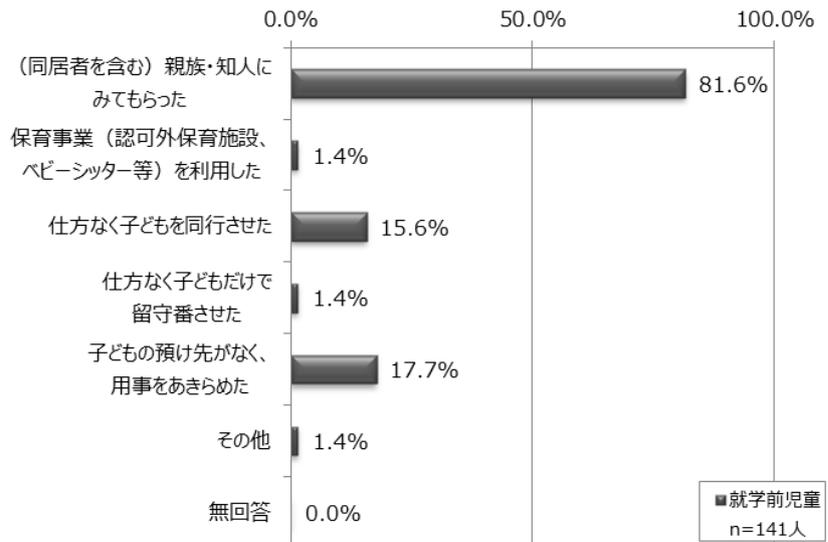
就学前児童のこの1年間に泊まりかけの用事等で子どもを家族以外に預けたことがある方は11.6%となっています。

対処方法として、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(81.6%)が最も高い割合を示しています。親族・知人にみてもらった場合の困難度については、「非常に困難だった」、「どちらかという困難だった」を合わせると39.2%となり、「特に困難ではなかった」(59.1%)より低い割合となっています。

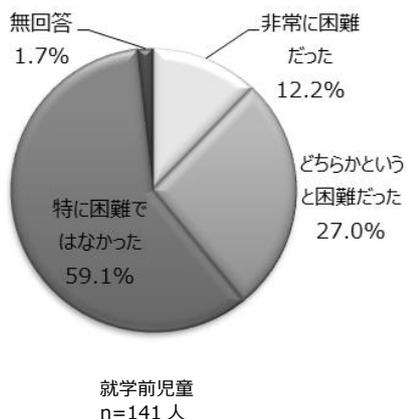
問25 この一年間に泊りがけの用事等で



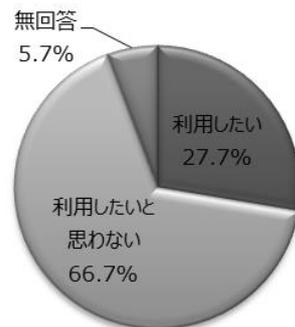
問25.1 1年間の対処方法



問25-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度



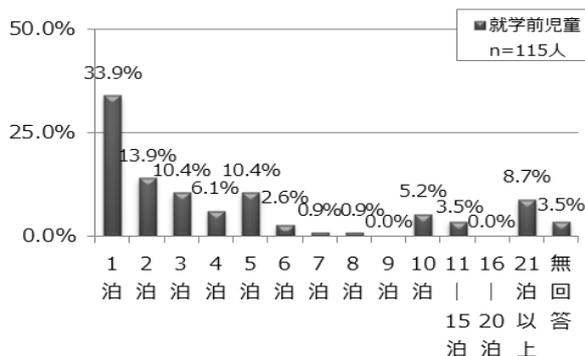
問25-2 泊りがけで預かる事業(ショートステイ)があればの利用希望



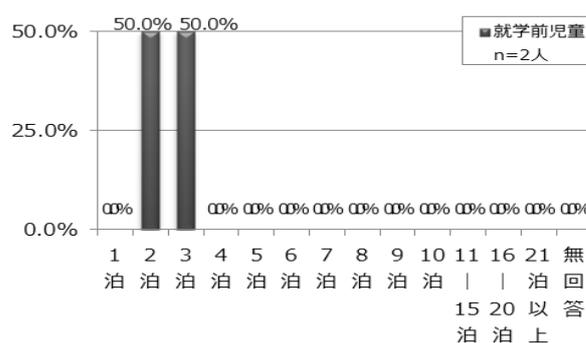
就学前児童の（同居者を含む）親族・知人にみてもらった泊数をみると、「1泊」（33.9%）、「2泊」（13.9%）、「3泊」・「5泊」（各10.4%）の順となっています。

利用者は少ないですが、「保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）」を利用した泊数は「2泊」・「3泊」（各50.0%）、子どもを同行させた泊数は、「1泊」・「2泊」（各31.8%）、子どもだけで留守番させた泊数は「2泊」・「3泊」（各50.0%）、その他の対処をした泊数では、「2泊」・「4泊」（各50.0%）となっています。一方、「子どもの預け先がなく、用事をあきらめた」回数では、「2回」（36.0%）、「1回」（28.0%）の順となっています。

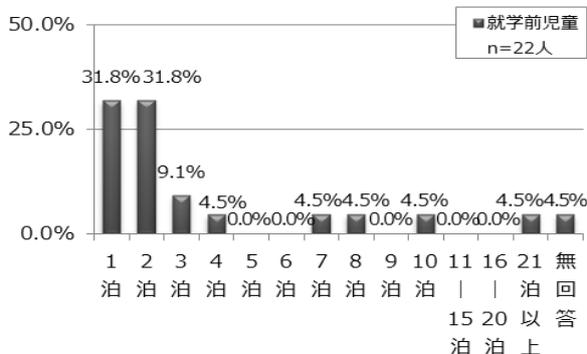
問 25.1.① （同居者を含む）親族・知人に  
みてもらった泊数



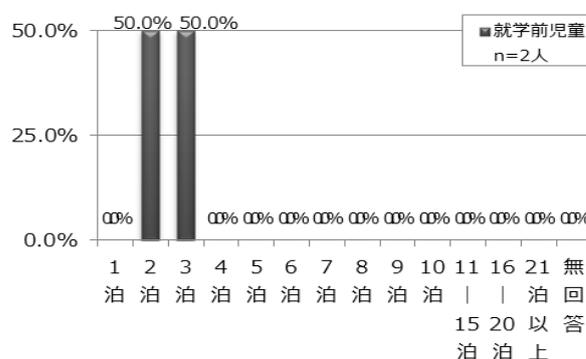
問 25.1.② 保育事業（認可外保育施設、  
ベビーシッター等）を利用した泊数



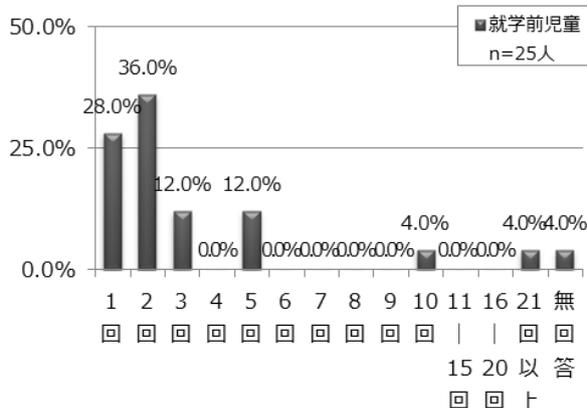
問 25.1.③ 子どもを同行させた泊数



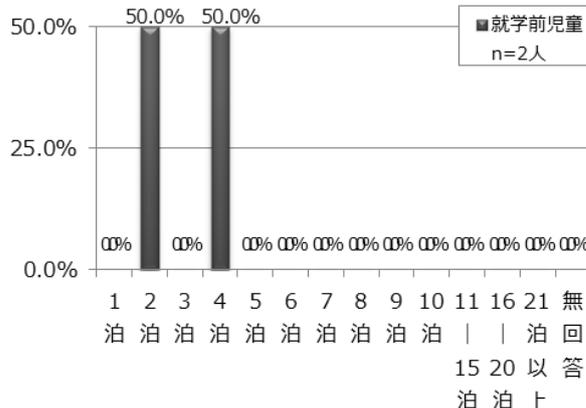
問 25.1.④ 子どもだけで留守番させた泊数



問 25.1.⑤ 子どもの預け先がなく、用事をあきらめた回数



問 25.1.⑥ その他の対処をした泊数

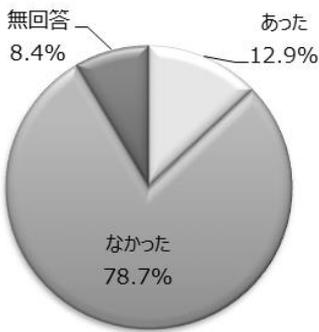


2. 就学児童の宿泊を伴う一時保育の利用について

就学児童のこの1年間に泊まりかけの用事等で子どもを家族以外に預けたことがある方は12.9%となっています。対処方法として、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」(83.8%)が最も高い割合を示しています。親族・知人にみてもらった場合の困難度については、「非常に困難だった」、「どちらかという困難だった」を合わせると36.3%となり、「特に困難ではなかった」(63.7%)より低い割合となっています。

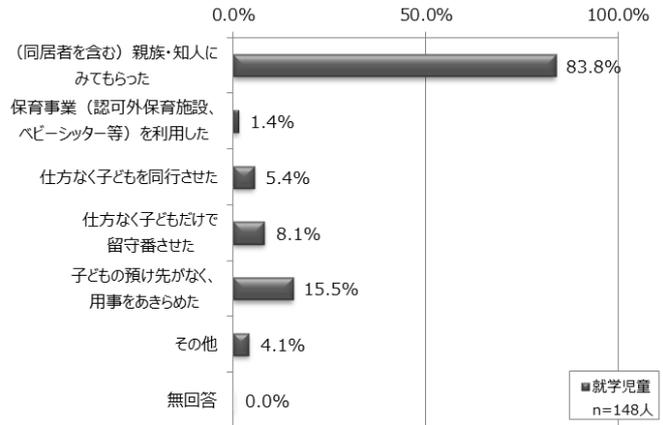
問16 この一年間に泊りがけの用事等で子どもを

家族以外に預けたことの有無



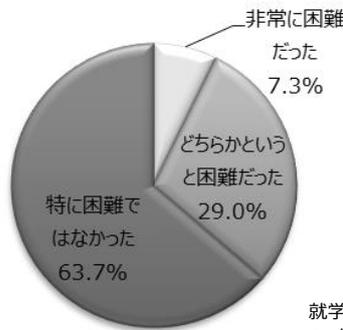
就学児童  
n=1,149人

問16.1 1年間の対処方法



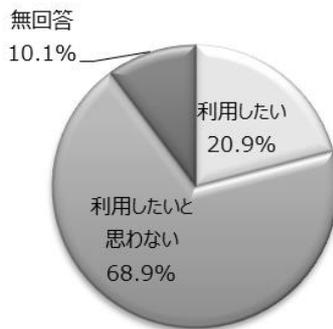
■就学児童  
n=148人

問16-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度



就学児童  
n=124人

問16-2 泊りがけで預かる事業(ショートステイ)があればの利用希望

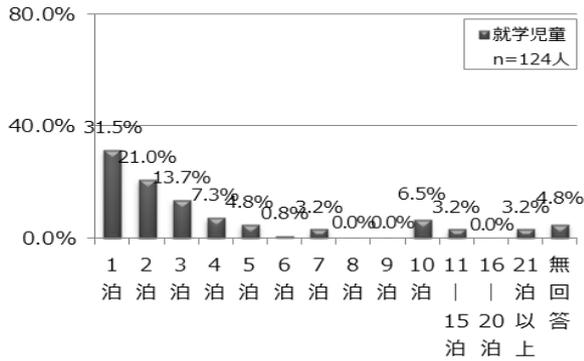


就学前児童  
n=148人

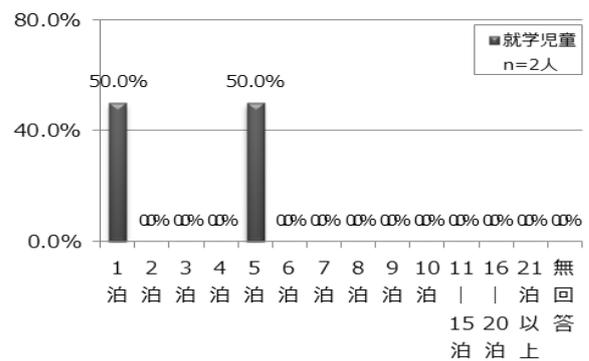
就学児童の（同居者を含む）親族・知人にみてもらった泊数をみると、「1泊」（31.5%）、「2泊」（21.0%）、「3泊」（13.7%）の順となっています。

利用者は少ないですが、「保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）」を利用した泊数は「1泊」・「5泊」（各50.0%）、子どもを同行させた泊数は、「1泊」（37.5%）、「2泊」・「7泊」（各25.0%）、子どもだけで留守番させた泊数は「1泊」（58.3%）、「2泊」・「5泊」（各8.3%）、その他の対処をした泊数では、「3泊」（33.3%）、「1泊」・「2泊」（各16.7%）となっています。一方、「子どもの預け先がなく、用事をあきらめた」回数は、「1回」（43.5%）、「2回」（26.1%）の順となっています。

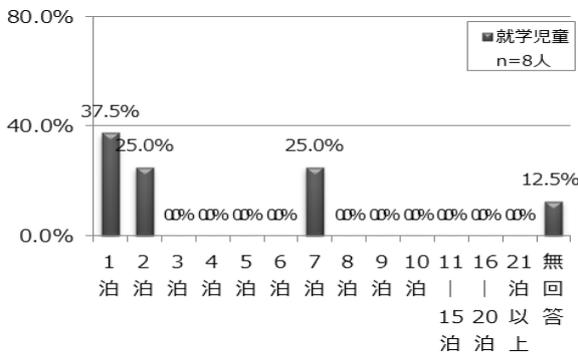
問 16.1.① （同居者を含む）親族・知人に  
みてもらった泊数



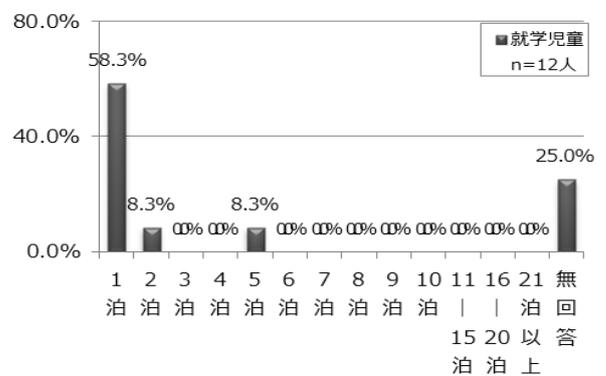
問 16.1.② 保育事業（認可外保育施設、  
ベビーシッター等）を利用した泊数



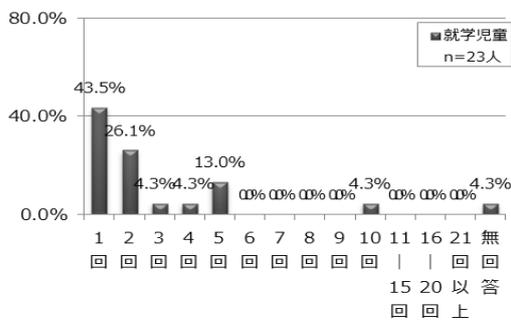
問 16.1.③ 子どもを同行させた泊数



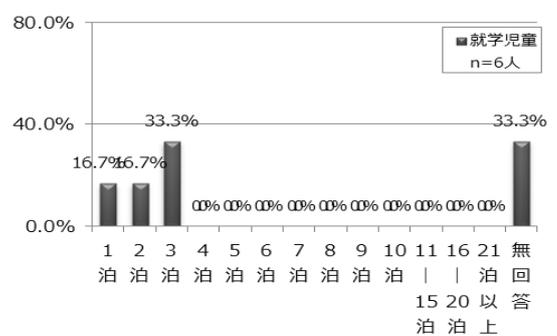
問 16.1.④ 子どもだけで留守番させた泊数



問 16.1.⑤ 子どもの預け先がなく、用事をあきらめた回数



問 16.1.⑥ その他の対処をした泊数



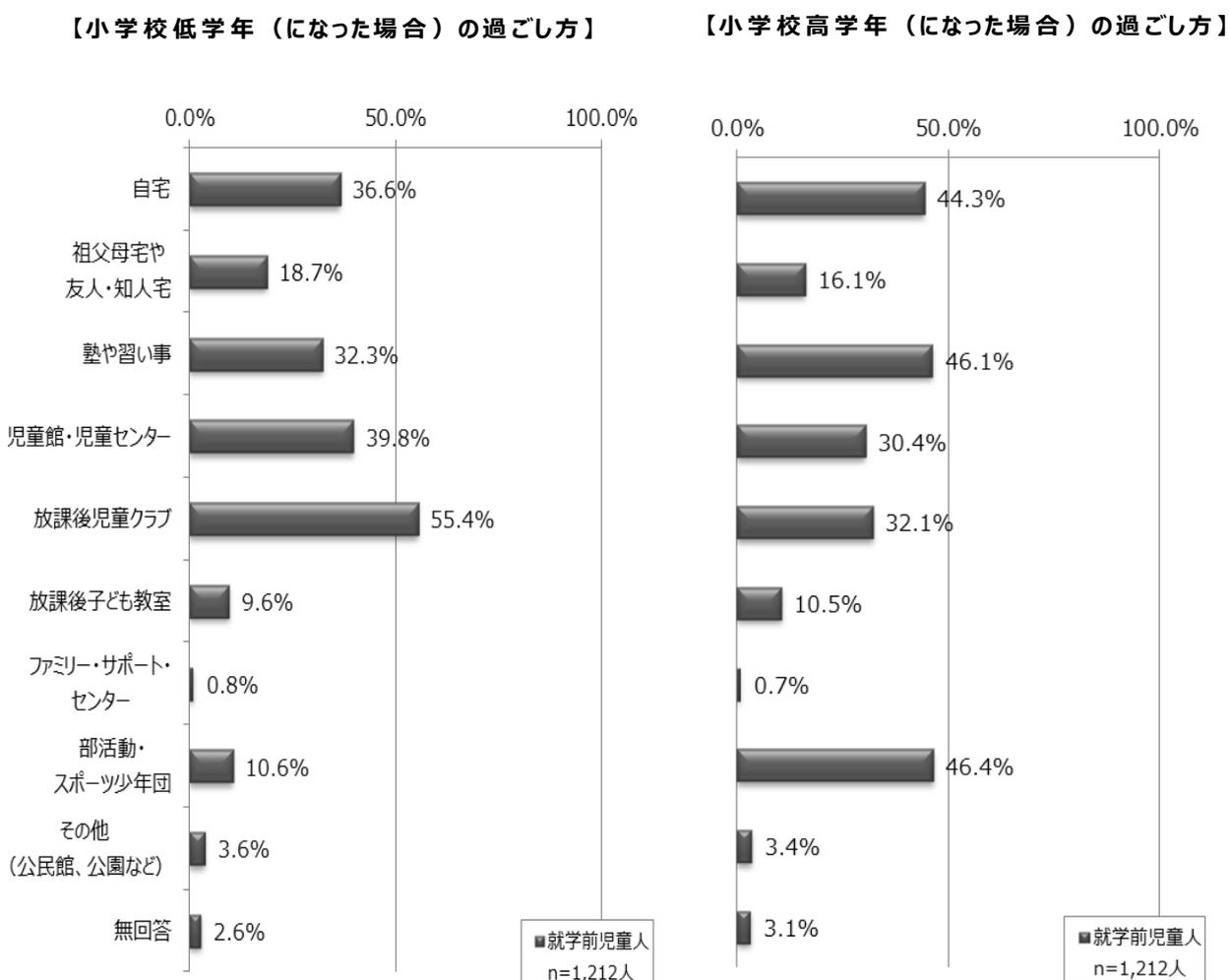
### 3 放課後の過ごし方について

#### (1) 1. 就学前児童の平日の放課後の過ごし方について

就学前児童の放課後の過ごし方をみると、小学校低学年になった場合の過ごし方の希望は、「放課後児童クラブ」(55.4%)、「児童館・児童センター」(39.8%)、「自宅」(36.6%)の順となっています。

また、小学校高学年になった場合の過ごし方の希望では、「部活動・スポーツ少年団」(46.4%)が最も多く、次いで、「塾や習い事」(46.1%)、「自宅」(44.3%)となっています。

問26・問27 放課後の過ごし方の希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生を意味しています。

就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と1週当たりの日数をみると、「自宅」では「5日」（低学年時期 29.1%・高学年時期 23.3%）、「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1～2日」（低学年時期 44.5%・高学年時期 44.6%）がそれぞれ最も多くなっています。

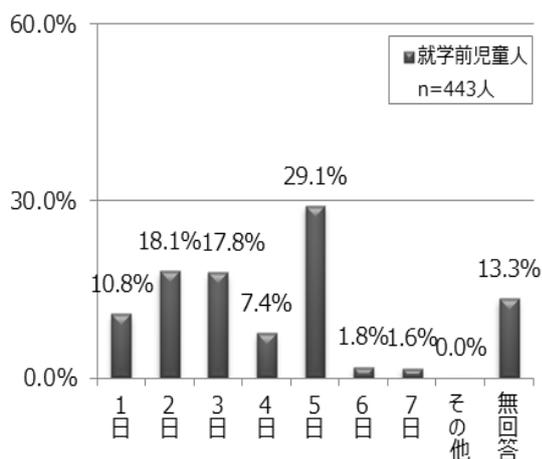
「習い事」では、低学年・高学年ともに「1～2日」という回答が多数を占めています。「児童館・児童センター」「放課後児童クラブ」では、低学年・高学年ともに「5日」が最も多くなっていますが、「放課後子ども教室」（1ヶ月当たり）においては低学年・高学年ともに「1～5日」で回答がばらついています。

「ファミリー・サポート・センター」「その他」では人数が少なく、「無回答」も多いため、的確な分析はできないものの、「ファミリー・サポート・センター」は低学年では「2日」が最も多いですが、高学年になると利用希望も減る可能性があります。「その他」について低学年・高学年ともに「1～5日」でばらつきがみられます。

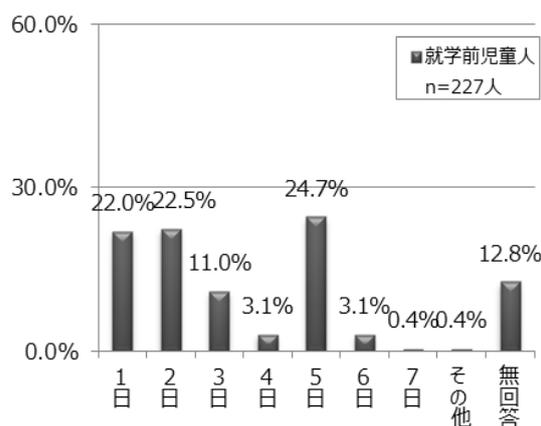
「部活動・スポーツ少年団」では「5日」（低学年時期 25.0%・高学年時期 36.5%）が最も多くなっています。

① 放課後の過ごし方【小学校低学年の時期】

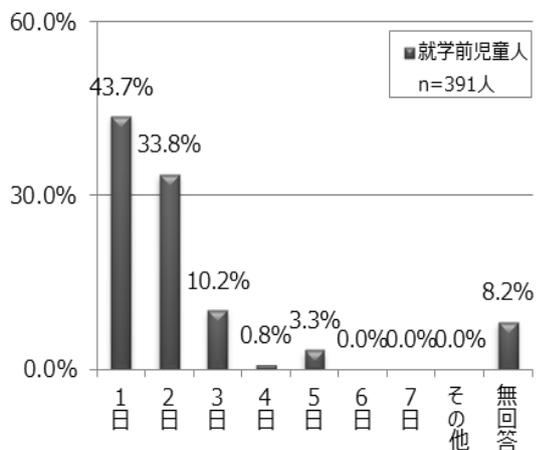
問 26.1 自宅の希望日数（1週当たり）



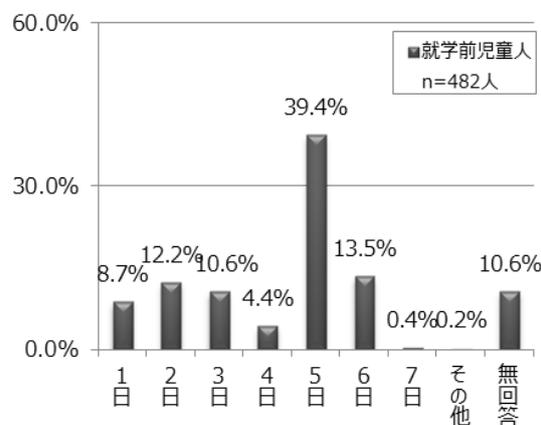
問 26.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



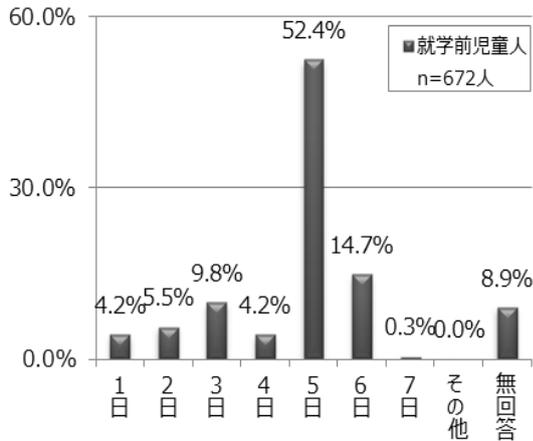
問 26.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



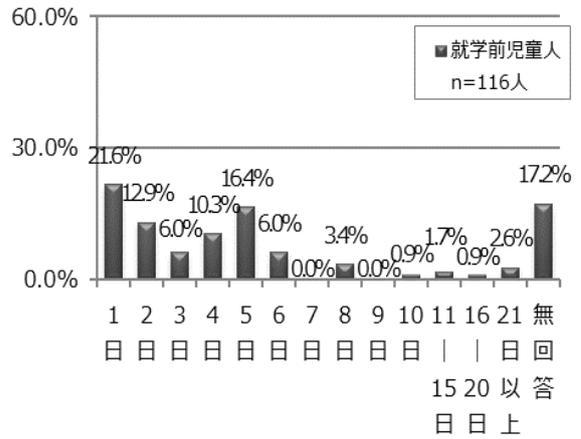
問 26.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



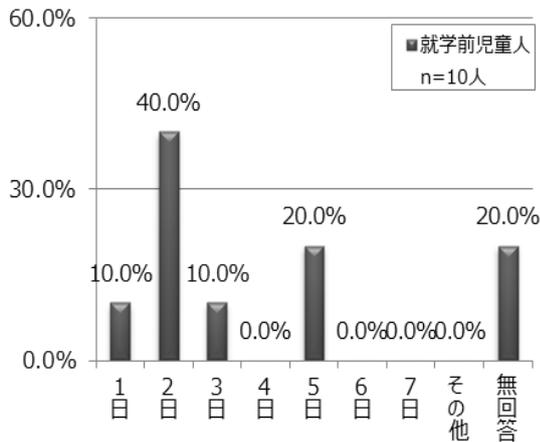
問 26.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



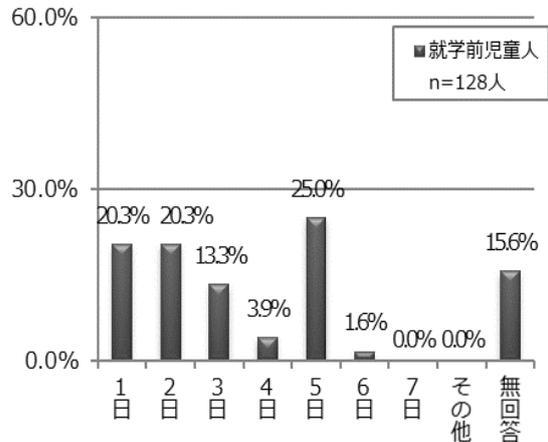
問 26.6 放課後子ども教室の希望日数（1ヶ月当たり）



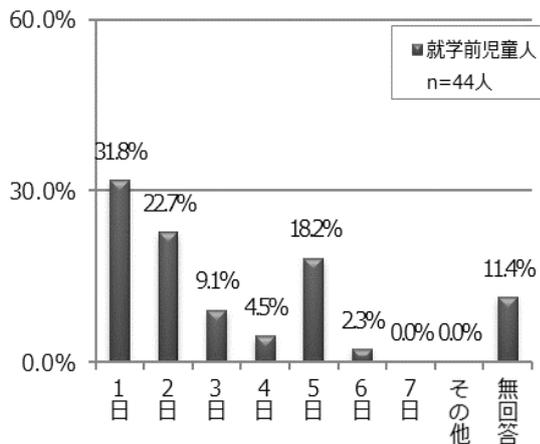
問 26.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



問 26.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）

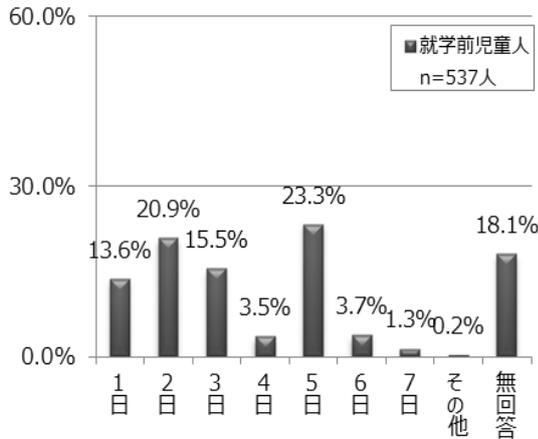


問 26.9 その他の希望日数（1週当たり）

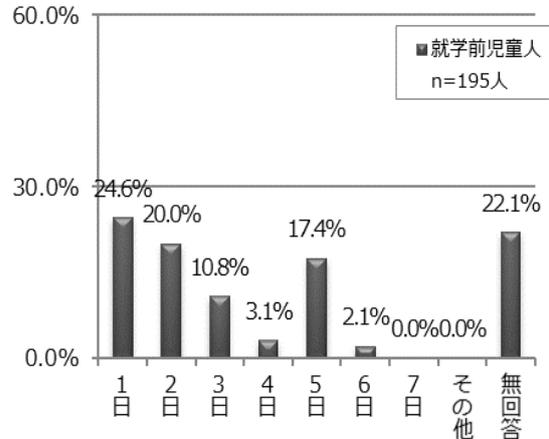


② 放課後の過ごし方【小学校高学年の時期】

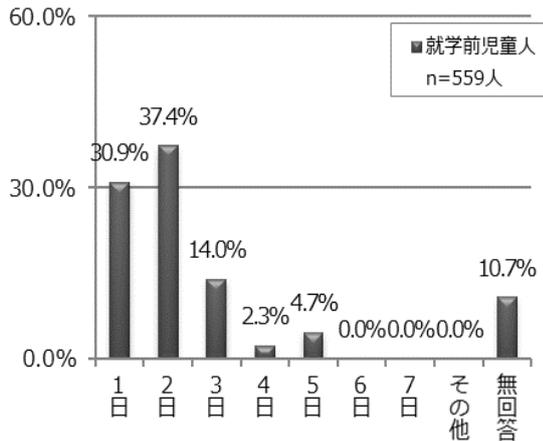
問 27.1 自宅の希望日数（1週当たり）



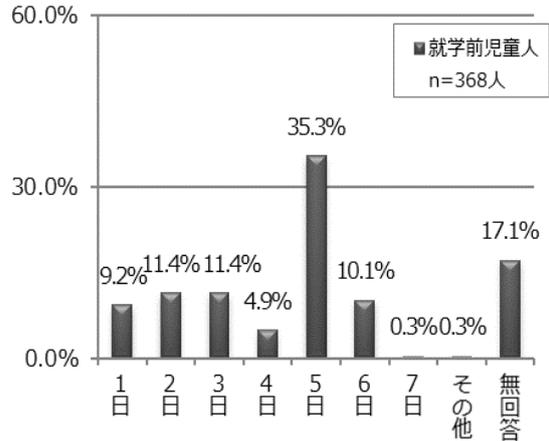
問 27.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



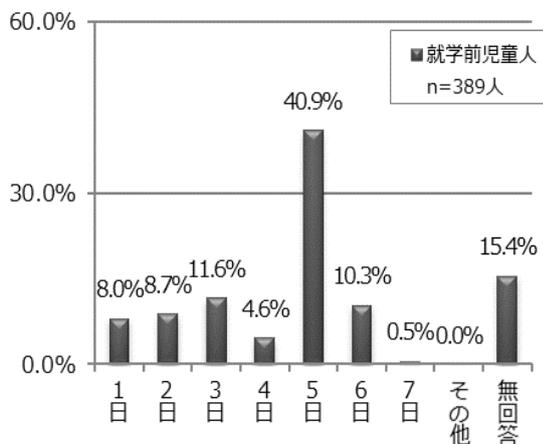
問 27.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



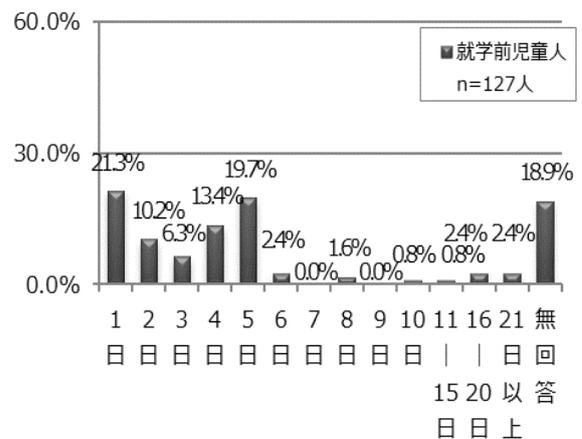
問 27.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



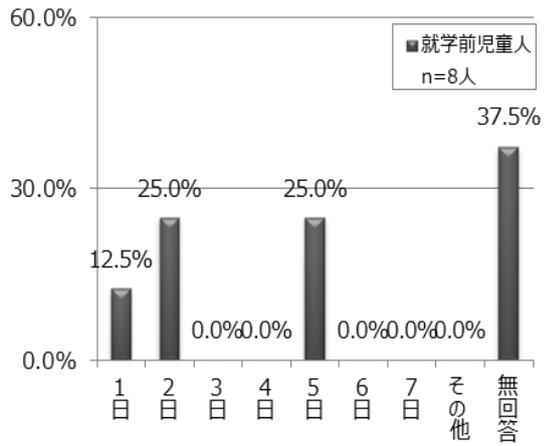
問 27.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



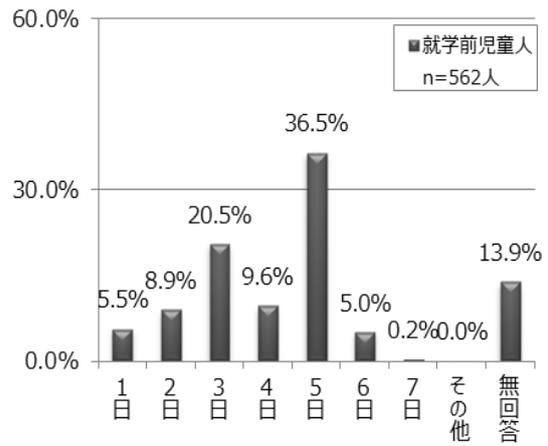
問 27.6 放課後子ども教室の希望日数（1ヶ月当たり）



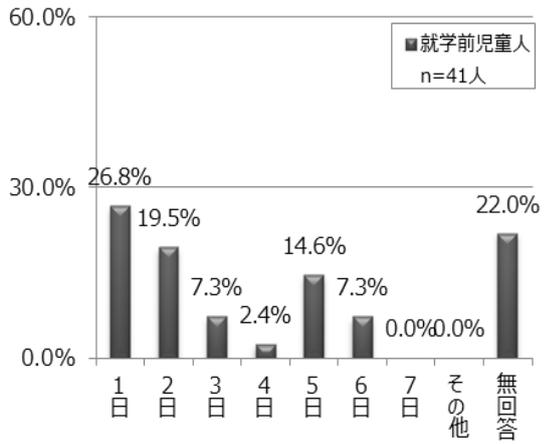
問 27.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



問 27.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 27.9 その他の希望日数（1週当たり）

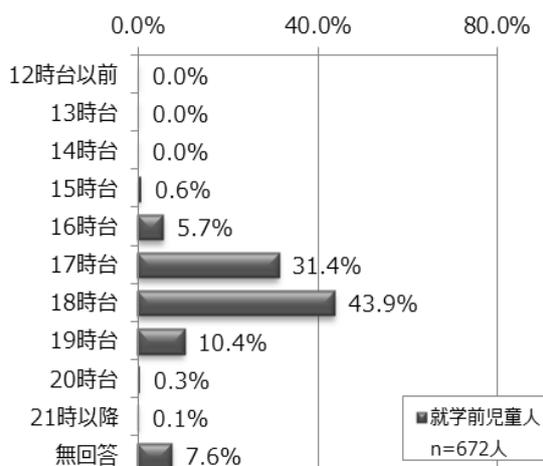


就学前児童の放課後児童クラブの利用希望時刻をみると、低学年は「18時台」（43.9%）、「17時台」（31.4%）、高学年でも「18時台」（25.4%）、「17時台」（11.8%）が多く、他の希望時刻も含めて、ほぼ同じ割合となっています。

「放課後クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間

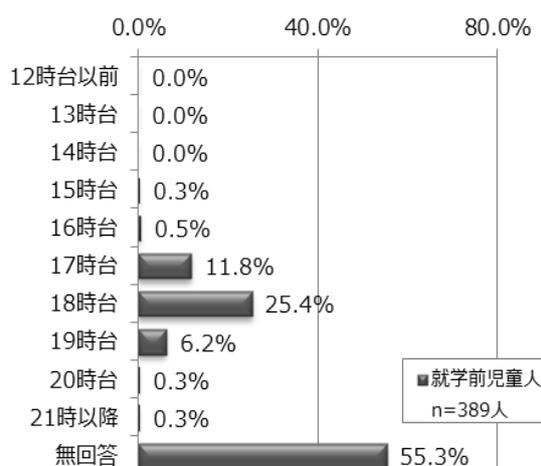
【小学校低学年の時期】

問 26.5.1 下校時からの利用希望時間

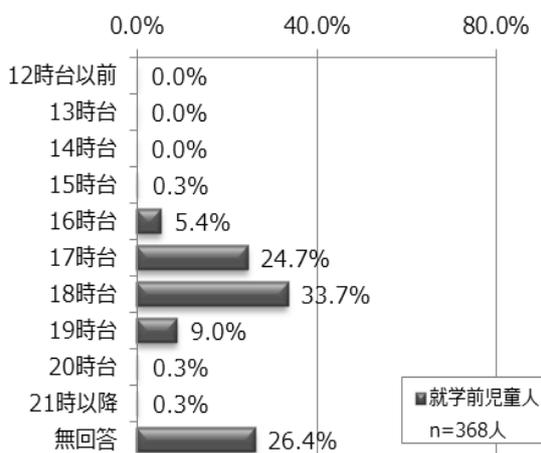


【小学校高学年の時期】

問 27.5.1 下校時からの利用希望時間



問 27.4.1 下校時からの利用希望時間

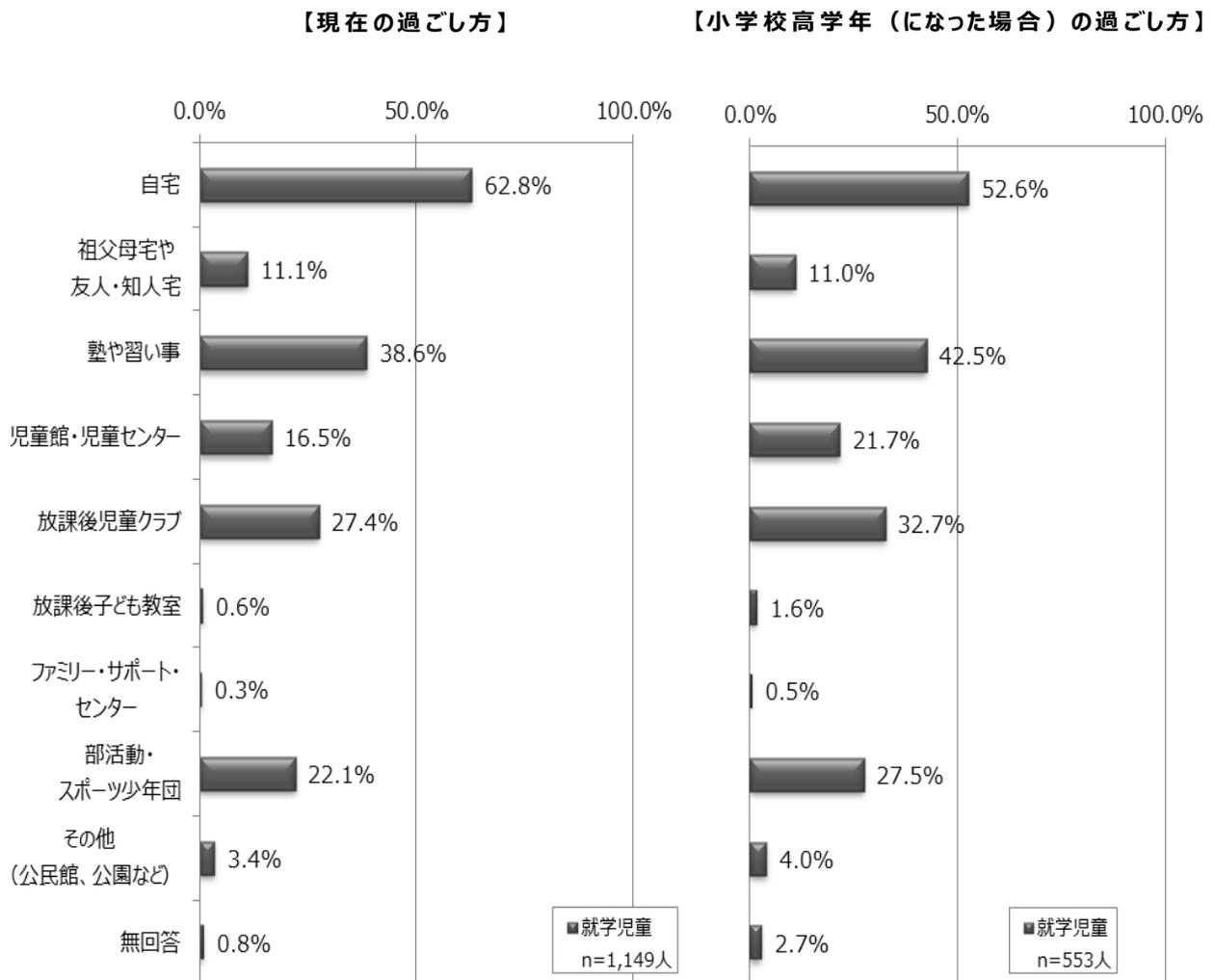


2. 就学児童の平日の放課後の過ごし方について

就学児童の放課後の過ごし方をみると、現在の過ごし方は、「自宅」（62.8%）、「塾や習い事」（38.6%）、「放課後児童クラブ」（27.4%）の順となっています。

また、小学校高学年になった場合の過ごし方の希望では、「自宅」（52.6%）が最も多く、次いで、「塾や習い事」（42.5%）、「放課後児童クラブ」（32.7%）となっています。

問 17・問 18 放課後の過ごし方の現状と希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生を意味しています。

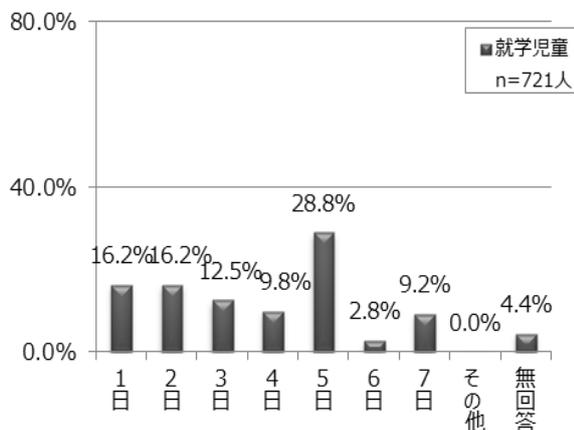
就学児童の保護者が放課後を過ごさせたい具体的な場所と1週当たりの日数をみると、「自宅」では「5日」（現在 28.8%・高学年時期希望 21.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」では、「1～2日」（現在 55.1%・高学年時期希望 62.3%）がそれぞれ最も多くなっています。

「習い事」では、現在・高学年時期希望ともに「1～2日」という回答が多数を占めています。「児童館・児童センター」「放課後児童クラブ」では、現在・高学年時期希望ともに「5日」が最も多くなっていますが、「放課後子ども教室」（1ヶ月当たり）においては現在・高学年時期希望ともに「1日」が最も多くなっています。

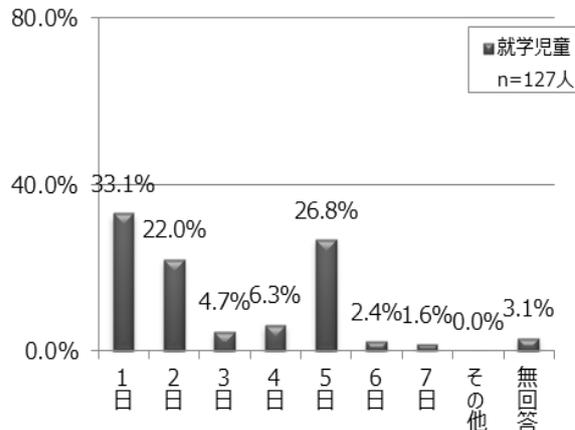
「ファミリー・サポート・センター」では人数が少なく、的確な分析はできないものの、現在・高学年時期希望ともに「5日」が最も多くなっています。「部活動・スポーツ少年団」では「3～4日」（現在 54.7%・高学年時期希望 49.3%）が最も多くなっています。

① 放課後の過ごし方【現在】

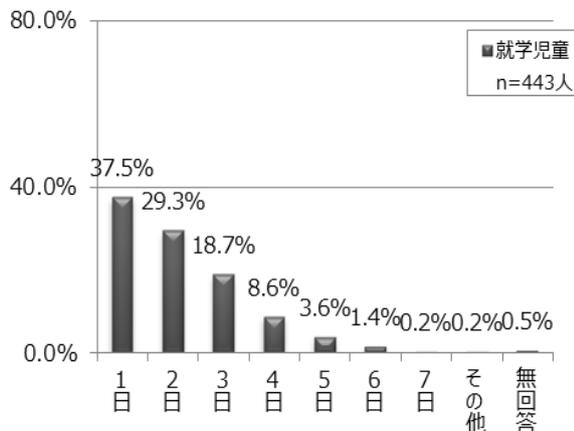
問 17.1 自宅の日数（1週当たり）



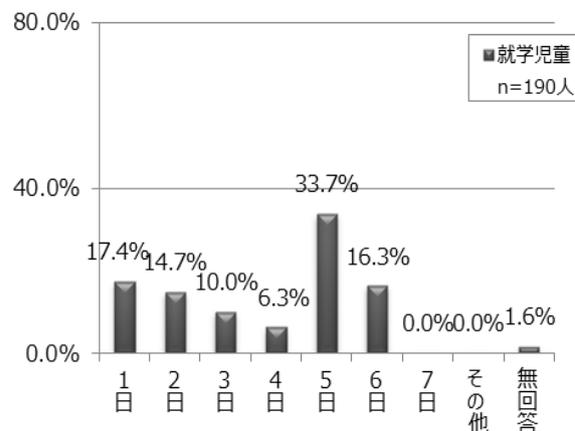
問 17.2 祖父母宅や友人・知人宅の日数（1週当たり）



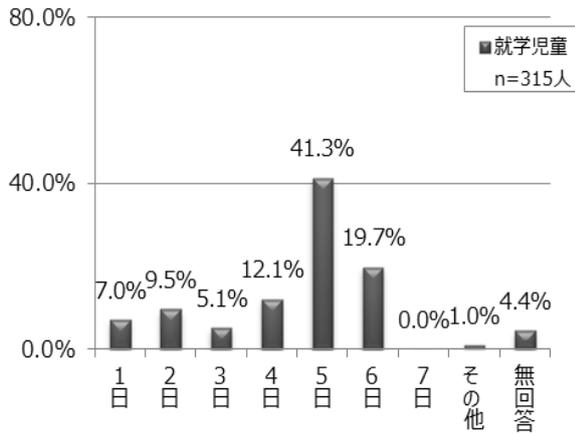
問 17.3 塾や習い事の日数（1週当たり）



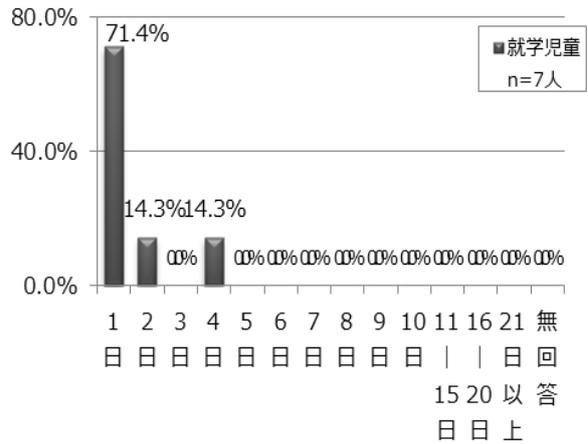
問 17.4 児童館・児童センターの日数（1週当たり）



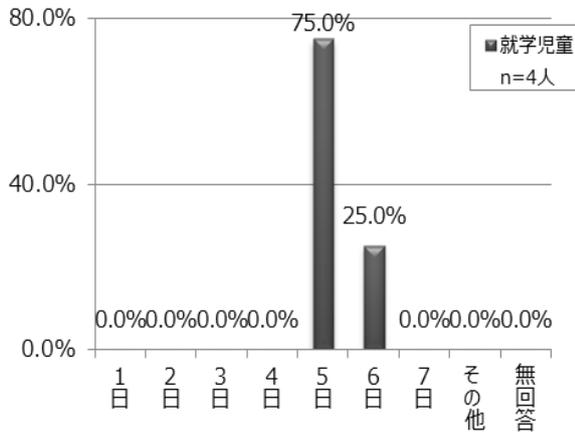
問 17.5 放課後児童クラブの回数（1週当たり）



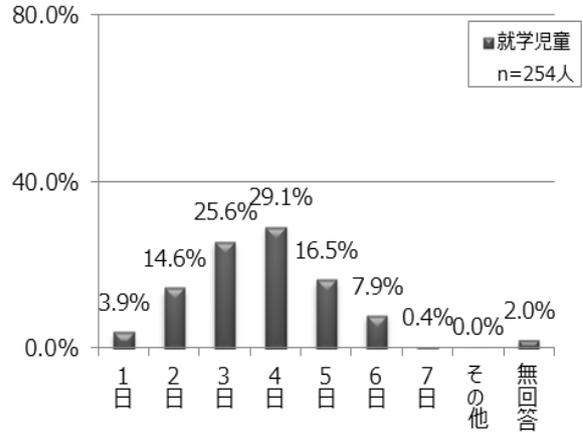
問 17.6 放課後子ども教室の回数（1ヶ月当たり）



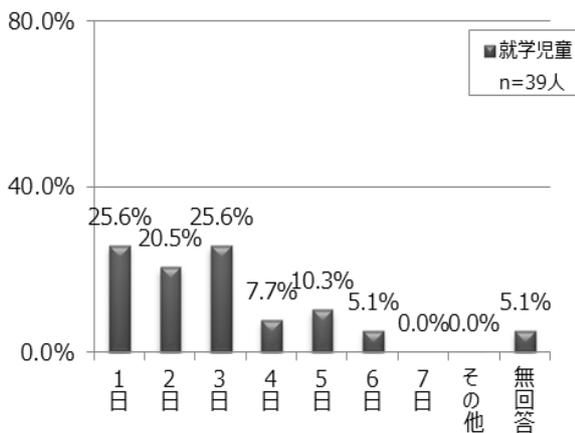
問 17.7 ファミリー・サポート・センターの回数（1週当たり）



問 17.8 部活動・スポーツ少年団の回数（1週当たり）

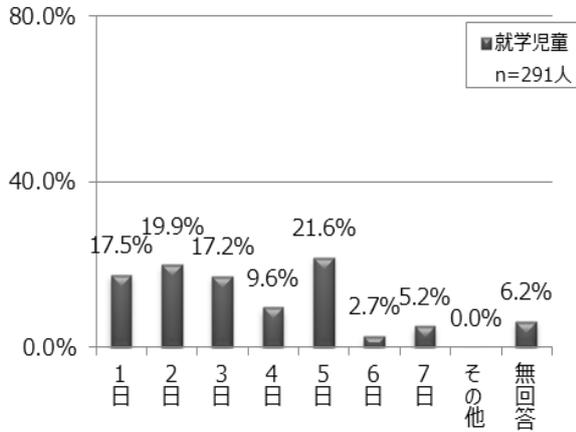


問 17.9 その他の回数（1週当たり）

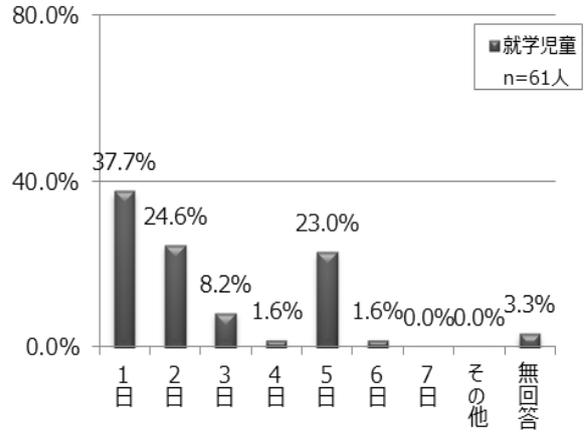


② 放課後の過ごし方【小学校高学年の時期】

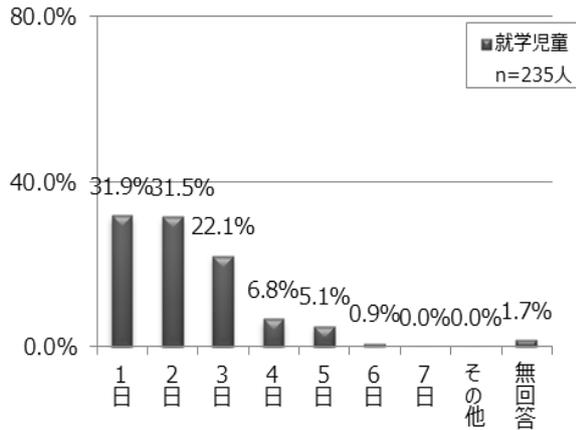
問 18.1 自宅の希望日数（1週当たり）



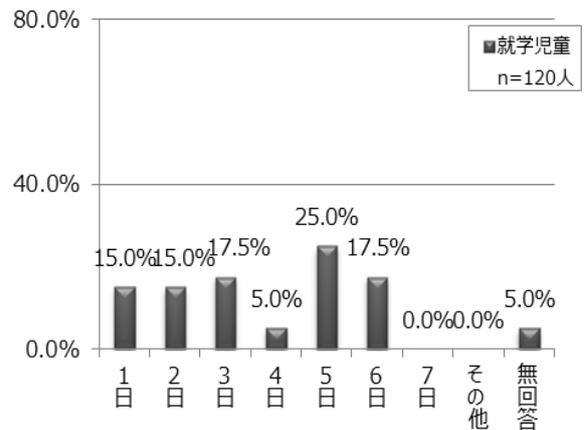
問 18.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



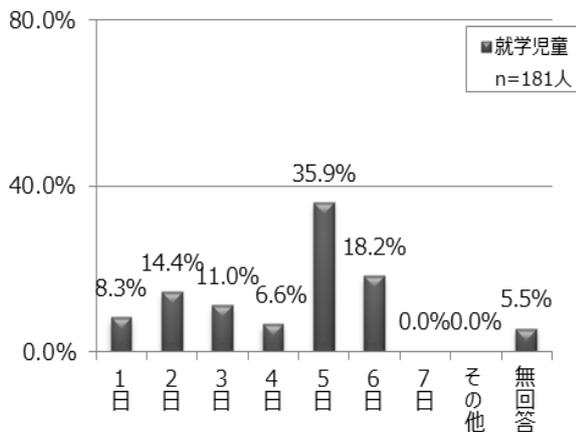
問 18.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



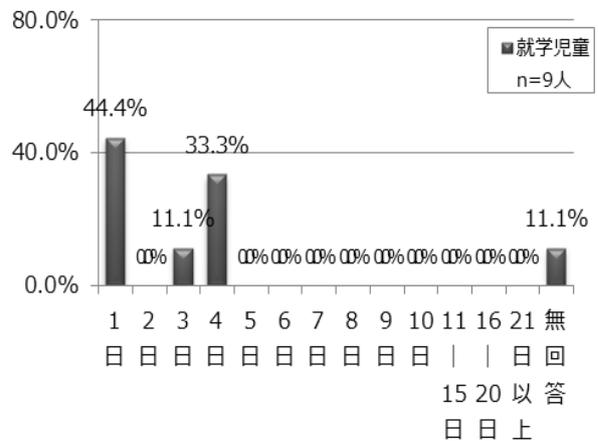
問 18.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



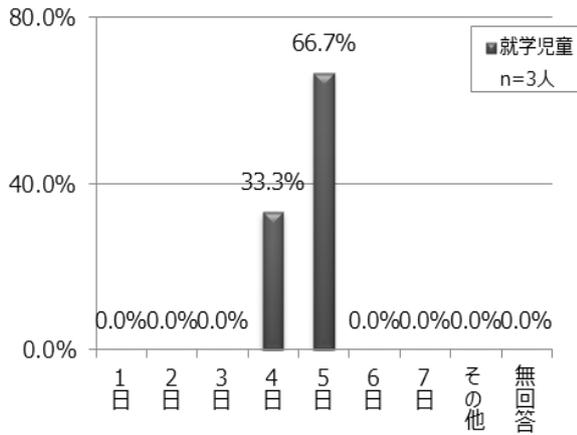
問 18.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



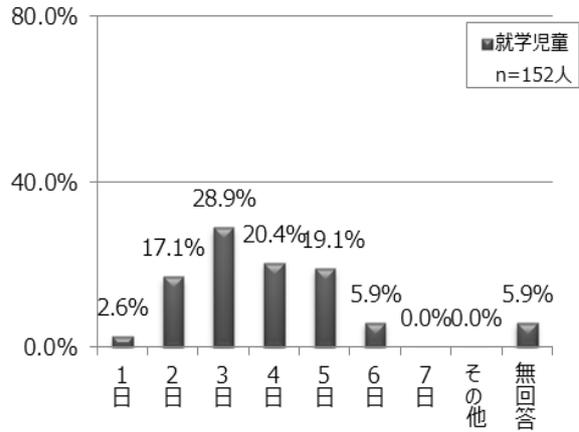
問 18.6 放課後子ども教室の希望日数（1ヶ月当たり）



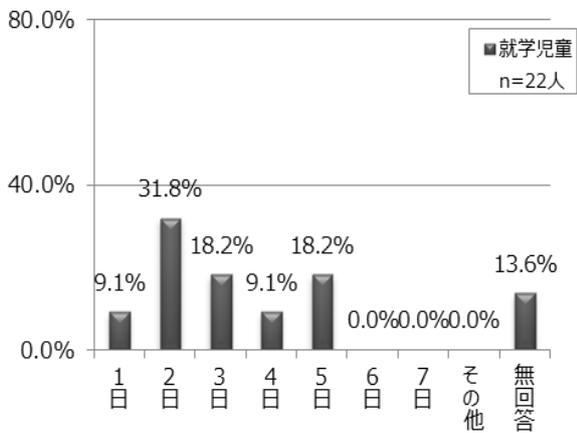
問 18.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



問 18.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 18.9 その他の希望日数（1週当たり）



就学児童の放課後児童クラブの利用時刻をみると、「18時台」（36.5%）、「17時台」（34.9%）、高学年時期の希望時刻でも「18時台」（37.6%）、「17時台」（30.4%）が多く、他の利用時刻・希望時刻も含めて、ほぼ同じ割合となっています。

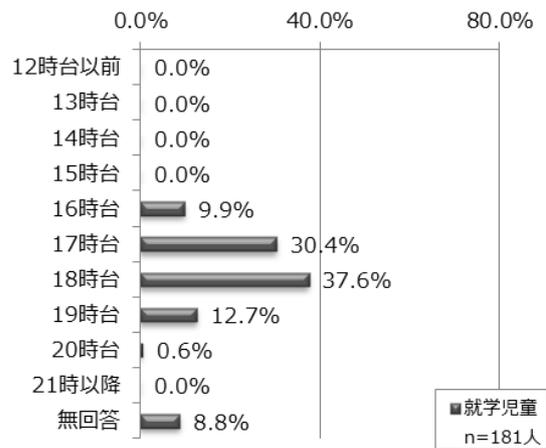
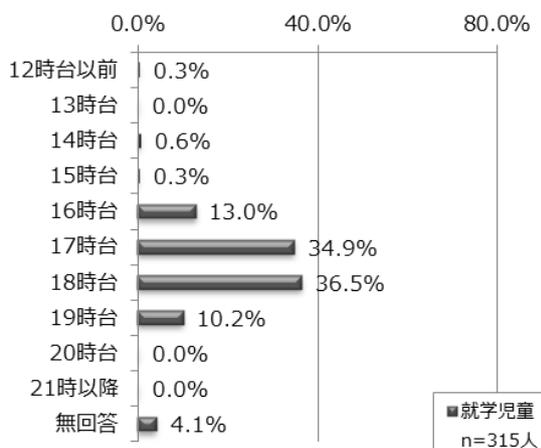
問 17.5.1 下校時からの利用時間

問 18.5.1 下校時からの利用希望時間

「放課後クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間

【現在】

【小学校高学年の時期】



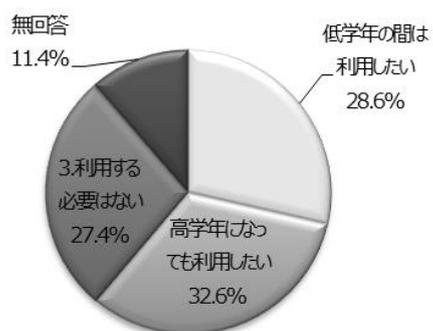
(2) 1. 就学前児童の土曜・休日の放課後児童クラブ利用について

就学前児童の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日は「高学年になっても利用したい」(32.6%)が最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」(28.6%)、「利用する必要はない」(27.4%)となっています。一方で日曜・祝日については、「利用する必要はない」(69.1%)が約7割を占め、次いで「高学年になっても利用したい」(11.3%)、「低学年の間は利用したい」(7.9%)となっています。

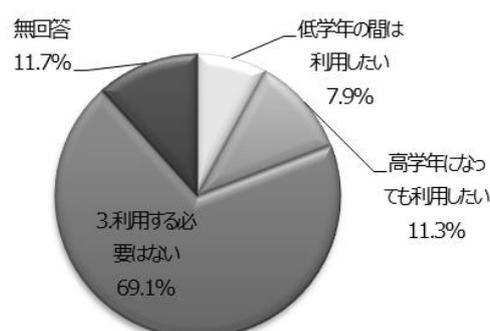
希望利用開始時間では、土曜日は「8時台」(42.0%)が最も多く、次いで「9時台」(22.4%)、「7時台」(17.9%)となっています。希望利用終了時間は、「18時台」(35.6%)、「17時台」(29.2%)が多い状況です。

また、日曜・祝日の希望利用開始時間・終了時間についても土曜日とほぼ同じ傾向となっています。

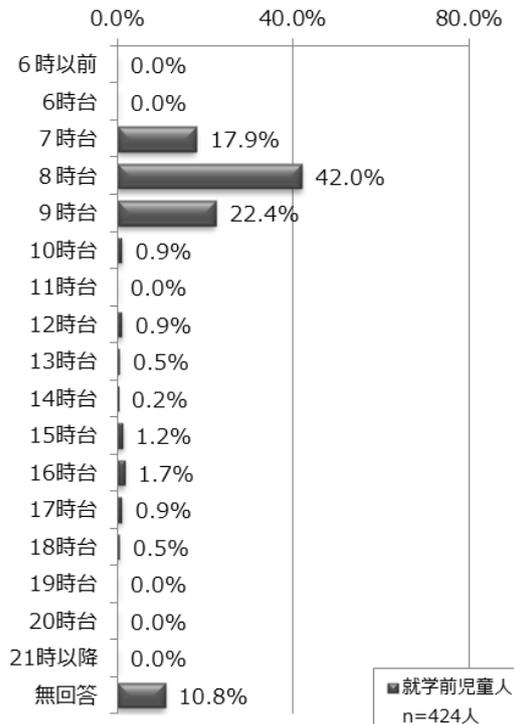
問 28 (1) 土曜日の利用希望



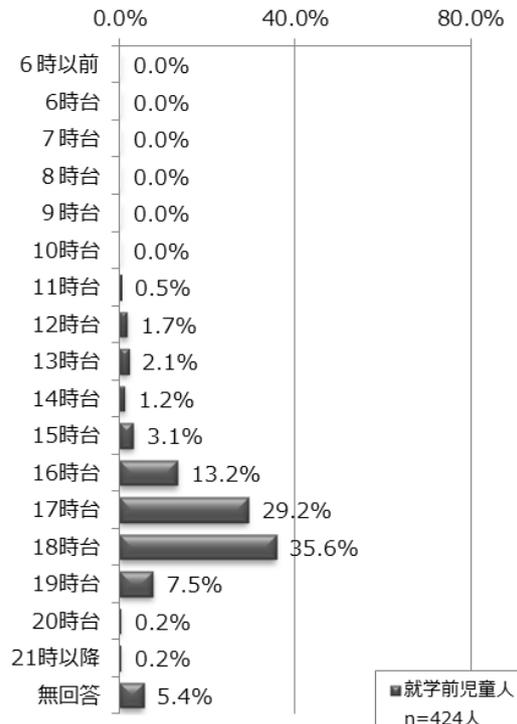
問 28 (2) 日曜・祝日の利用希望



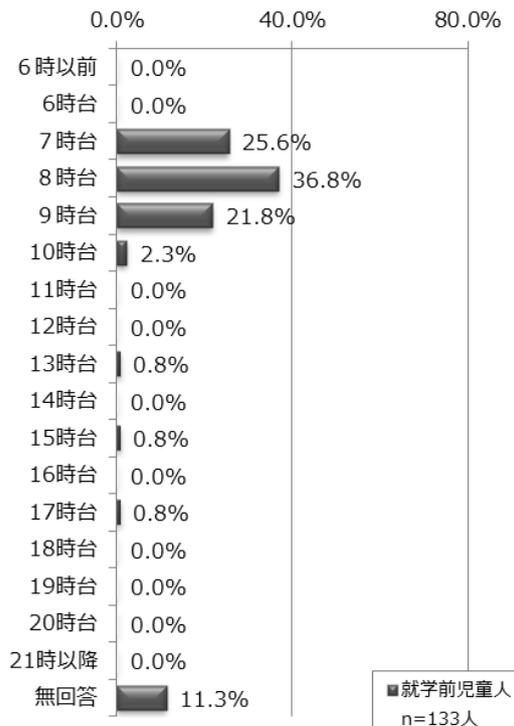
問 28 (1) .1 土曜日の希望利用開始時間



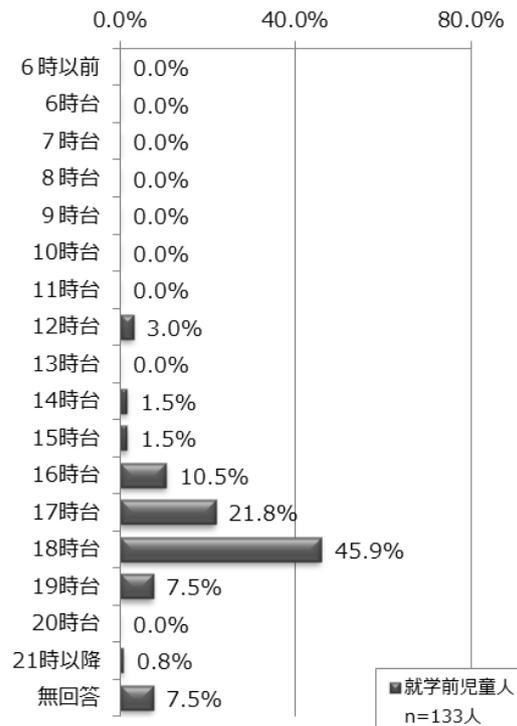
問 28 (1) .2 土曜日の希望利用終了時間



問 28 (2) .1 日曜・祝日の希望利用開始時間



問 28 (2) .2 日曜・祝日の希望利用終了時間



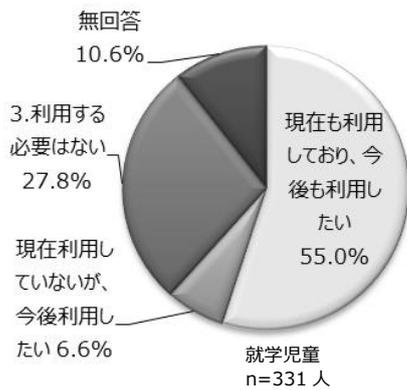
2. 就学児童の土曜・休日の放課後児童クラブ利用について

就学児童の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日は「現在も利用しており、今後も利用したい」(55.0%) が最も多く、次いで「利用する必要はない」(27.8%)、「現在利用していないが、今後利用したい」(6.6%) となっています。一方で日曜・祝日については、「利用する必要はない」(64.4%) が約7割を占め、実施されれば利用したい(26.9%) となっています。

希望利用開始時間では、土曜日は「8時台」(40.7%) が最も多く、次いで「7時台」(36.3%)、「9時台」(14.7%) となっています。希望利用終了時間は、「17時台」(33.8%)、「18時台」(29.9%) で多い状況です。

また、日曜・祝日の希望利用開始時間・終了時間についても土曜日とほぼ同じ傾向となっています。

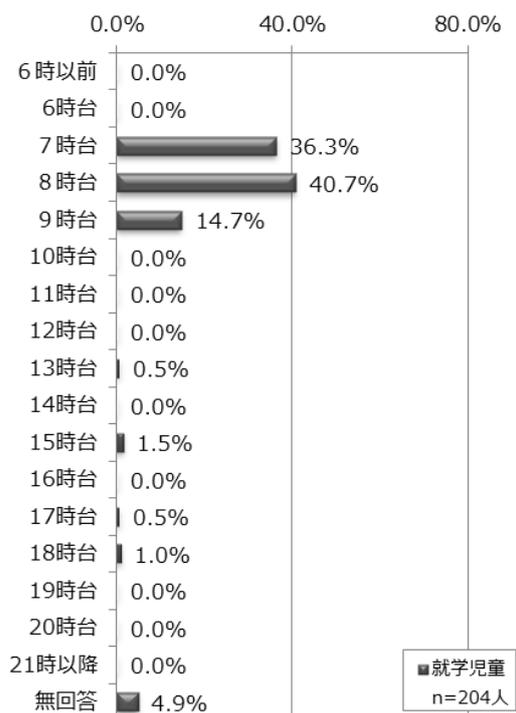
問 19 (1) 土曜日の利用状況・利用希望



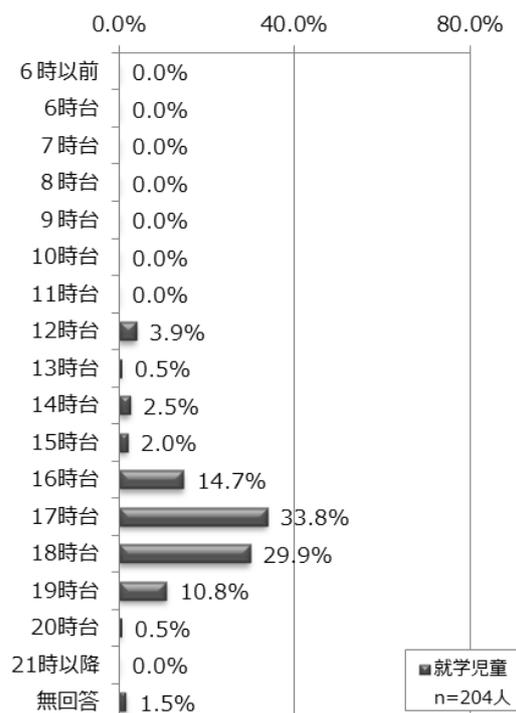
問 19 (2) 日曜・祝日の利用状況・利用希望



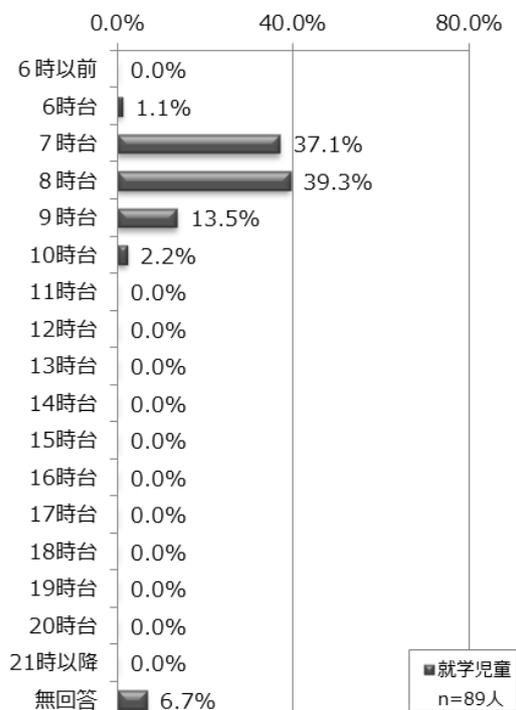
問 19 (1) .1 土曜日の希望利用開始時間



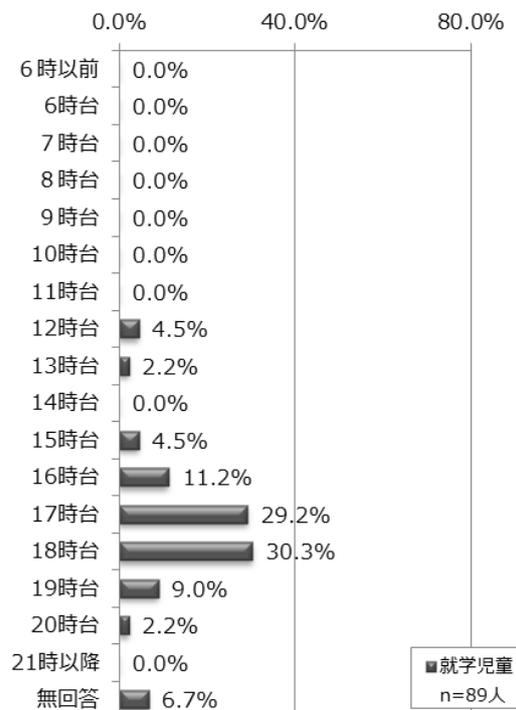
問 19 (1) .2 土曜日の希望利用終了時間



問 19 (2) .1 日曜・祝日の希望利用開始時間



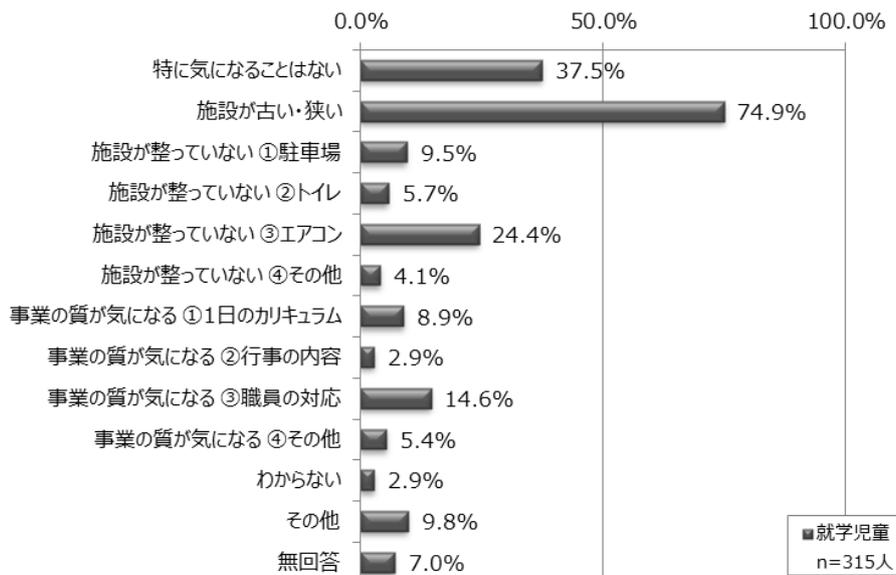
問 19 (2) .2 日曜・祝日の希望利用終了時間



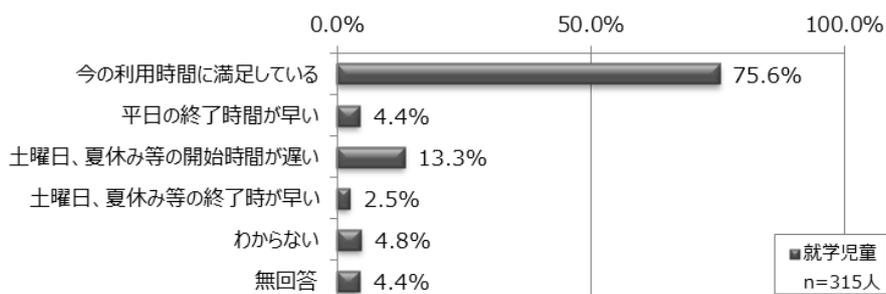
就学児童の放課後児童クラブのサービスについての満足度をみると、「施設が古い・狭い」（74.9%）、施設が整っていないは 43.7%、事業の質が気になるは 31.8%、一方で「特に気になることはない」（37.5%）となっています。利用時間については、「今の利用時間に満足している」（75.6%）が最も多くなっています。

放課後児童クラブ利用料徴収の意向は、「利用料の徴収に反対（今のままでよい）」（38.7%）、「利用料の徴収に賛成」（36.2%）の順で、利用料金（月額）は「3,000円」（36.8%）が最も多くなっています。

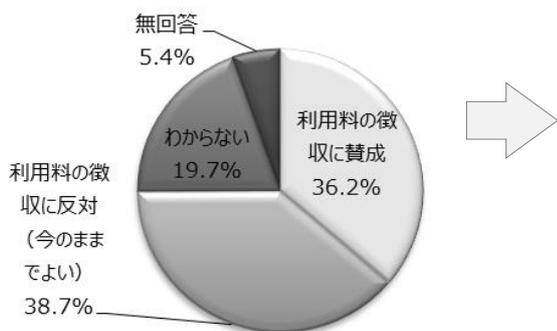
問 20 放課後児童クラブのサービスについての満足度



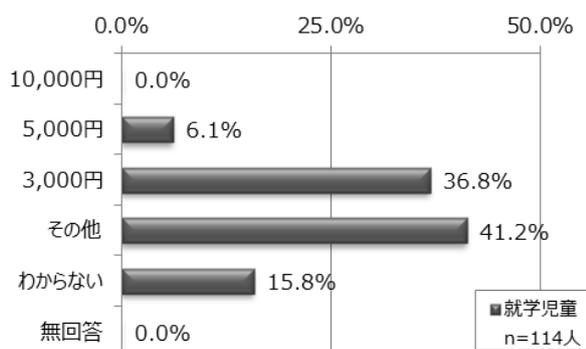
問 20-1 放課後児童クラブの利用時間についての満足度



問 20-2 放課後児童クラブの利用料徴収について



問 20-3 放課後児童クラブの利用料について（月額）

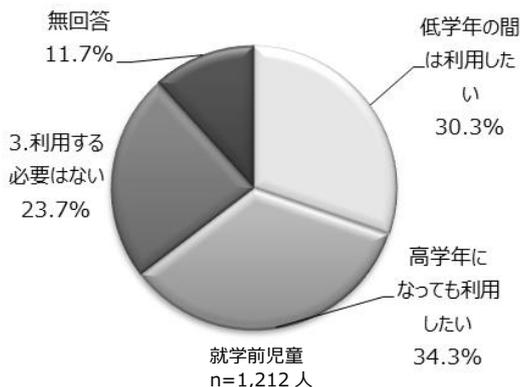


(3) 1. 就学時前児童の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について

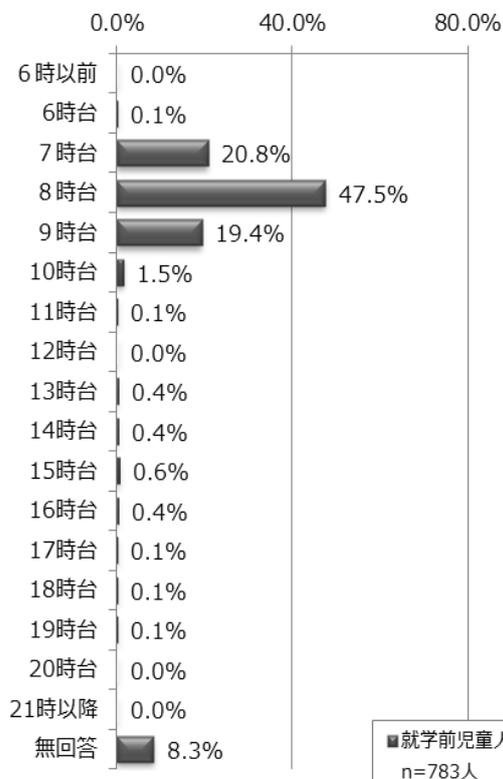
就学前児童の長期休暇中の利用希望をみると、「高学年になっても利用したい」（34.3%）が最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」（30.3%）、「利用する必要はない」（23.7%）となっています。

希望利用時間は、開始は「8時台」（47.5%）、終了は、「18時台」（34.0%）が最も多くなっています。

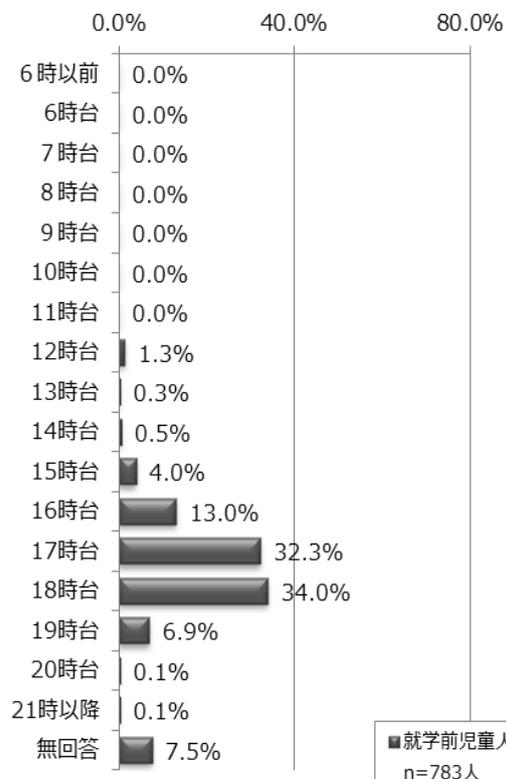
問 29 長期休暇中の利用希望



問 29.1 長期休暇中の希望利用開始時間



問 29.2 長期休暇中の希望利用終了時間

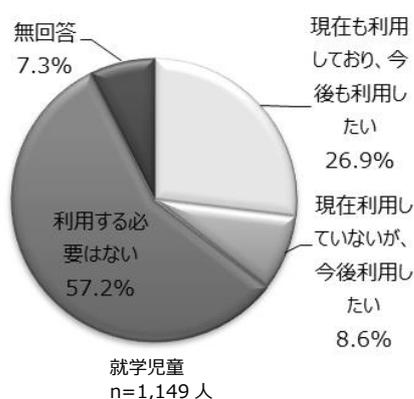


## 2. 就学児童の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用について

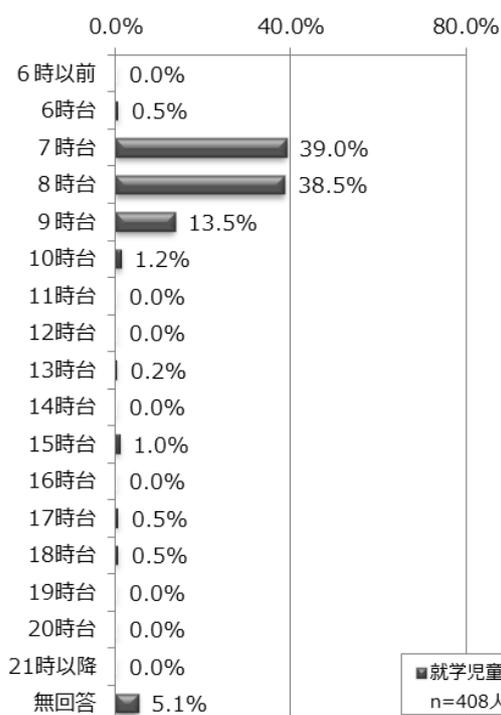
就学児童の長期休暇中の利用希望をみると、「利用する必要はない」（57.2%）が最も多く、次いで「現在も利用しており、今後も利用したい」（26.9%）、「現在利用していないが、今後利用したい」（8.6%）となっています。

希望利用時間は、開始は「7時台」（39.0%）、「8時台」（38.5%）の順、終了は、「18時台」（33.6%）、「17時台」（29.9%）の順に多くなっています。

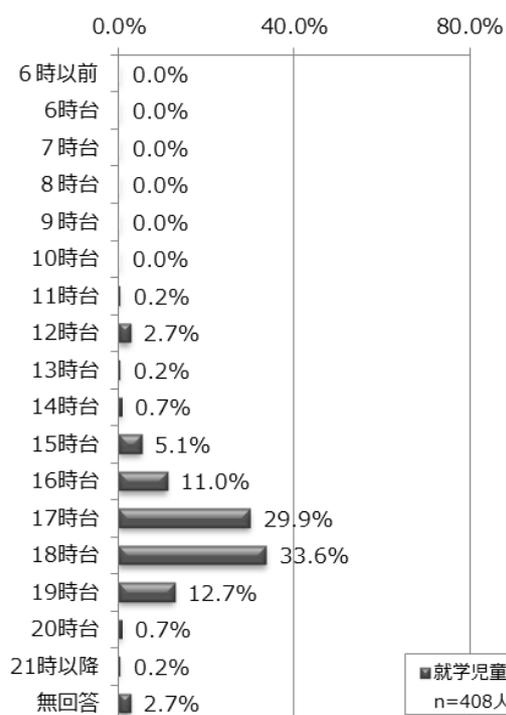
問 21 長期休暇中の利用希望



問 21.1 長期休暇中の希望利用開始時間



問 21.2 長期休暇中の希望利用終了時間



#### 4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

子育て支援事業の周知状況を見ると、「保健センターの情報・相談事業」（56.4%）、「市の子育て支援パンフレット等」（51.6%）、「子育ての総合相談窓口」（47.7%）が上位を占めているものの、いずれの事業も利用状況は低くなっています。

周知状況と利用状況が相反する事業は「家庭教育に関する学級・講座」（1.0%）、「教育相談センター・教育相談室」（1.5%）、「子育ての総合相談窓口」（3.1%）があげられます。

今後の利用したい事業については「ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト」（18.8%）が最も多く、次いで「家庭教育に関する学級・講座」（18.4%）、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」（18.3%）となっていますが、いずれの事業も20%未満となっています。

